トーキョー・D

〈登場人物〉

青年
少年
アイダ
アスカ
キョウコ
イマイ
母
娘
ネズミたち

1

鼠の鳴き声、「キーキー」と。一匹から始まり、徐々に増えていく。不快なレベルに達したところで止まり、かわりに玉音放送（終戦の詔勅）が流れる。雑音が混じり、聞きづらい。

明りが入ると、舞台に七人の黒衣の者（ネズミたち）が跪いている。

ゆっくりと頭をあげていく。ボール紙製の手づくりのお面をつけている。それはミッキーマウスの顔らしいのだが、幼児が描いたのではと思われるほどへたくそ（前衛的）だ。しかも、どの顔もひどく悲しそうな表情である。

玉音放送が止まると、蝉の鳴き声。

溶暗。

2

円天井の倉庫のような場所。薄暗い。

青年、地べたに座り込み、頭をおさえている。ぶつけたらしい。
半ズボンの少年（少女かもしれない）が近づく。浅葱色の風呂敷をマントにして、腰には玩具の刀をさしている。

少年　ね、ハゼの絵描いて。
青年（気づいて）え？……なぜ？
少年　なぜじゃない。ハゼの絵描いて。
青年　……ヒツジの絵じゃなくて？
少年　ヒツジなんて、僕、数えたりしない。
青年　ぼっちゃんはここで何してるの？
少年（答えず）ね、ハゼの絵描いて。
青年　絵なんて描けないよ。
少年　そんなことかまやしないよ。ハゼの絵描いて。
青年　ハゼって、お魚の？
少年　僕のおじいちゃん、ハゼを描くのが上手だよ。シマモリシマハゼとか。長いこと研究してるからね。お魚博士なんだ。
青年　じゃあ、おじいちゃんに頼みなよ。
少年（聞いていない）ね、ハゼの絵、描いて。
青年　水族館、行ったことないんだ。魚屋にも。釣りもしないし、食べたことないし。
少年　唐揚げがおいしいよ。でもツムギハゼには毒がある……ね、ハゼの絵描いて。
青年　描くもの、ないだろ。
少年　ここへ描いて（地面を指す）。

少年、半ズボンのベルトにさしていたビニール製の刀を抜き、青年に渡す。

青年　これで？　大事なものじゃないの？
少年　あめのむらくも。
青年　あめの……。
少年　ね、ハゼの絵……。
青年　わかったわかった。（立ち上ろうとするが、足がもつれる）
少年　足、悪いの？
青年　いや、久しぶりにたくさん歩いたもの

だから。（よろける）

少年　生れたばかりの子馬みたい。

青年　ほんとに久しぶりなんだ……（膝を屈伸して）もう大丈夫。

青年、地面に〝帽子〟の絵を描く。

少年　違う違う。僕、ウワバミに呑まれている象なんていやだ。

青年（隣に描き直す）じゃあ、これでどう？

少年　小さいってば。

青年　小さいの？

少年　もっとずっと大きいんだ。君の身長よりある。幅だってこのくらい。（手を広げる。五十センチ程）

青年　それ、ハゼじゃなくてサメじゃないの？（渋々描き直す）

少年　……そうそう、そのくらいでいいよ。頭は丸くてね……ダメダメ、背びれとか腹びれなんて無いんだ。そのかわり立派な尾びれがついてる。尾びれだけだよ。

青年　尾びれだけ？

少年　他のはとれちゃったのかも。

青年　わけがわからん。（ぼやきながら描く）

少年　……そう、こんなの。

青年　これ、ハゼなの？

少年　おじいちゃんのベッドの下に隠してあったんだ。きっと新種のハゼの標本だよ。

青年　ぼっちゃんもお魚博士になるの？

少年　ううん、僕は海より空がいい。

青年　わかった、鳥の博士だ。

少年　チョウ。

青年　象？

少年　蝶だよ。象なんて空飛べないじゃない。

青年　ダンボは飛んだ。ディズニー映画の子象の。大きな耳羽ばたかせて。

少年（聞いていない）お庭にはいろんな蝶がくるよ。（絵を指し）これ、蛹に似てる。

青年　そうかな……。

少年　君、どこからきたの？　空から？

青年　空からじゃないよ。
少年　降ってきたんじゃないの？
青年　雹じゃないんだから。
少年　ヒョウ？　ヒョウは降ってくるの？　ガブッて噛みつかない？
青年　雹って、虎の親類の猫の大きいやつじゃないよ。氷の大きな粒。入道雲ができたときに雷と一緒に降ってくる。
少年　氷の粒か。
青年　でもすごく大きいのもある。昔、熊谷で南瓜くらいの雹が降ったんだって。直径三十センチ近くあって重さも三キロ。そんなのが頭にあたったりしたら、西瓜割ったみたいになっちゃう。世界各地で雹にあたって死んだ人、結構いるんだよ。
少年　赤ん坊だ。生れたばかりの赤ちゃんと同じ。
青年　赤ちゃんは降って来ないよ。
少年　コウノトリが赤ちゃんを運んでいて途中で落っことした。
青年　……。
少年　じゃあ、君、どこから来たの？
青年　さっきまでゴミ置き場にいた。
少年　まきば？
青年　牧場じゃない。置き場。粗大ゴミの。その一角に家具ばかり集められた倉庫があって、そこに廃棄されたベッドが山のように積まれてた。ベッドでつくったピラミッド……さがしてたんだよ。
少年　何を？
青年　僕のベッドを。
少年　ベッド？　君はベッドを失くしたの？
青年　ああ。
少年　盗まれたの？
青年　捨てられたんだ。
少年　誰に？
青年　……母さんに。
少年　そいつはひどいや。ベッドが無かったらその夜からどうやって寝たらいいの。もう眠るなってこと？　ずいぶんひどいこ

とする母さんだね。継母？

青年　継母じゃない……しょうがないんだ。頭に来ちゃったんだ。キレちゃったんだ。ほんとは、捨てたかったのはベッドでなくて僕だったかも。

少年　どうしてキレちゃったの？　その意地悪な継母は。

青年　違うって……僕、何年もずっとベッドにいて片時も離れようとしなかったから。トイレにいく以外は。

少年　ごはんも？

青年　ベッドの上で食べた。何もかもベッドの上ですませた。一日中ベッドにいたんだ。ベッドから降りられなかった。

少年　筏の上みたいに？

青年　そう、漂流してた。

少年　いいな。僕もベッドで朝ごはん食べたいな。

青年　トイレから戻ったらベッドが無かった……窓が開いてて。

少年　逃げたんじゃないの？

青年　ベッドがかい。

少年　足が四本あるんだから。

青年　無理だよ。窓の幅より大きい。

少年　そんなのどうにでもなる。ベッドだって一人になりたかったのかも。だって、ずっと君と一緒だったんでしょ。だからね、君はトイレもベッドでしなきゃいけなかったんだ。それをズルしたもんだから。

青年　ズルって……。

少年　ここにはベッドがあるよ。

青年　ここに？

少年　たくさんあるよ。（指をさして）そっちにも、こっちにも……あっちにもある。

青年　ぼっちゃん、ここは……。

少年（答えず）君、何をする人？

青年　何もしない人……ひきこもりっていうんだ。

少年　ひ……き……？

青年　ひきこもり。

少年　ひこうきのり！　君は飛行機乗りか。
やっぱ空から降ってきたんだね。
青年　そうじゃなくて……。

アイダ、登場。帽子をかぶっている。

アイダ　殿下、見っけ。
少年　あ、見つかっちゃった。
アイダ　殿下、お部屋に御戻り下さい。もう
じきお茶の時間です。（懐中時計を見る）
少年　じゃあね。今度、飛行機のお話してね。

少年、青年に手を振って退場。

青年　あの子は？
アイダ　見ての通り殿下です。
青年　やっぱり王子様か（笑）。
アイダ　まあ、そんなような。
青年　失礼ですが、あなたは？
アイダ　執事のようなものです。
青年　ヒツジ？
アイダ　執事。（地べたの絵を見て）これは？
青年　殿下に頼まれて。ハゼです。
アイダ　はせ！
青年　ハゼの絵を描いてくれって。
アイダ　描いてくれって言ったんですか！
青年　よくわからないんで適当に描いたら、
ちっちゃいって。こんなに大きいかなあ。
アイダ　……。
青年　おじいちゃんはハゼを描くのがうまい
そうですね。
アイダ　あなた、「はせ」って言葉の意味、わ
かって仰ってる？
青年　はせ？　ハゼです。お魚でしょ？
アイダ　ハゼ……ああ、そう。いいんです、
ハゼなら。お魚なら。この形なんで、私は
てっきり「はせ」かと。そうですよね、あ
なたみたいな若者が「はせ」を御存じなわ
けない（隣の絵を見て）……こっちは？
青年　ウワバミに呑まれている象です。そっ

ちはお気に召さなかった。

アイダ　象ですか……大きいんですか？

青年　ジャンボです（笑）。

アイダ　巨象か。想像力がなくては見えてこないってやつだ。言葉もそう。巨像と虚像。日本語にはホモニムなんて厄介なものが。

青年　僕、ホモじゃありません。

アイダ　同音異義語のことです。巨大な姿と実態と異なるイメージ。巨像と虚像。

青年　……あの。

アイダ　はい。

青年　ここはどこなんでしょう？

アイダ　あなた、方向音痴の方？

青年　いえ……いや、そうかもしれません。

アイダ　飛行機乗りだとか言ってませんでした？　飛行機乗りが方向音痴ではまずいんじゃ？　目的地に着けないし。

青年　飛行機乗りじゃありません……ひきこもりです。

アイダ　人生の方向音痴ですか。自分の行く方向はわかってなくちゃ。たとえ自分の名前は知らなかったとしても。

青年　さっきまでベッドの墓場と呼ばれるところにいました。僕のベッドをさがしてピラミッドを上って……それが突然。

アイダ　足元が崩れた。ガラガラと。

青年　気がついたらここに。ここはさいたま市のゴミ置き場の近くですか？

アイダ　かなり遠くです。

青年　僕は一体どうしたんでしょう。

アイダ　おそらく穴に落ちたんですね。

青年　穴に？

アイダ　穴。空間にぽっかり開いた穴。そこにうっかり落ちたんでしょう。

青年　よくあることなんですか？

アイダ　いつもでなくときどき開く。人生にはそういう落とし穴が間間あるらしい。

青年　落とし穴……。

アイダ　穴かんむりに井戸の井で穽（せい）。落とし穴です。そこからゴロゴロ転がって

ここまで来た……お怪我はないですか？
青年　頭をちょっと打ちましたが、ほかはたぶん大丈夫です。
アイダ　そりゃよかった。ついてますね。
青年　……僕はついてるんでしょうか。
アイダ　それはまだ何とも。
青年　で、ここは？
アイダ　東京ドームをご存じですか？
青年　え？　トーキョー……ド、ドリーム？
アイダ　東京ドーム。
青年　あの東京ドーム？
アイダ　あのかこのかは知りませんが、たぶんその東京ドーム。
青年　文京区にある、野球をやる。
アイダ　それ。
青年　知ってますよ。
アイダ　文京区をご存じとは、あなた、東京に詳しいですね。生粋の江戸っ子ですか？
青年　東京人じゃなくても知ってます。
アイダ　港区や新宿区ならともかく、文京区は通じゃなきゃなかなか。
青年　埼玉です。生れも育ちも岩槻です。
アイダ　いわくつき？
青年　岩槻（いわつき）です。人形で有名な。
アイダ　雛人形の町ですね。でも察するに、あなたは西武でなく巨人ファンだ。
青年　いいえ。
アイダ　阪神ファン？
青年　どこのファンでもないです。
アイダ　野球には興味がない？
青年　……ええ。
アイダ　アイドルも？
青年　アイドル？
アイダ　東京ドームでコンサートやイベントやりますよ。幼稚園のお遊戯会みたいな。
青年　アイドルなんて。
アイダ　不安になるから。
青年　は？
アイダ　不安になりません？　贔屓のチームが試合でぼろぼろに負かされるんじゃな

いか、大好きなアイドルが男に騙され、ぼろぼろにされるんじゃないか。ファンって、不安になりたい人の集まりなんですよ。

青年　どこのファンでも誰のファンでもないから不安になりません。

アイダ　自分のファン。ナルシストか……つまりドームに入ったことはないわけだ。

青年　傍を通ったことはありますけど、昔。

アイダ　知らないんじゃない。

青年　え？

アイダ　中に入ったことないんでしょ。それじゃ知らないってことじゃないですか。

青年　そうなりますか。

アイダ　知ってますなんて堂々と仰るから……知ったかぶりっていうんですよ。

青年　すみません。

アイダ　あやまることはないです。私だって入ったことはない。入りたくもない。あそこは巨人のフランチャイズだ。私、スワローズファンですから。巨人、嫌いです。名前から嫌だ。だって、巨人ですよ。

青年　はあ……。

アイダ　球団の名前は動物が多いんです。虎、獅子、鷲、鷹。竜とか鯉なんてのもありません。うちは燕。春飛来し、軒下に巣をつくり、秋南方に去る。日本の風情、春の季語です……それが巨人ですよ。ギリシャ神話でも北欧神話でもダイダラボッチでも、巨人なんて図体がでかいだけで、頭の弱い、動きの鈍いどうしようもないやつらだ。よく棍棒なんか振り回してますが、そいつをわざわざ名乗るなんて馬鹿じゃなかろか。歳時記にだって載ってないし。

青年　確か、大リーグにサンフランシスコジャイアンツってのが。

アイダ　野球、興味ないんじゃなかったの。

青年　ネットの知識で。

アイダ　なのに特別扱いされてる。メディアでは巨人と表記されるが、うちはツバメでなくヤクルトだ。ならば読売でしょ。なぜ、

あそこだけ特別なんだ！

青年　昔からの、伝統の……。

アイダ　若造が伝統なんて軽々しく言うな！

青年　すみません。

アイダ　あやまることないです。私が何より許せないのは、東京ドームが面積や容積の単位になってることです。よく言うでしょ、東京ドーム三個分とか。

青年　よく聞きます。

アイダ　なぜ東京ドームなんですかね。

青年　それはみんなが知っていて、想像しやすいからでは。

アイダ　あなた、中へ入ったことないって言ったじゃないですか。おかしいと思ってる人、多いんじゃないですか？　関西の方なら甲子園球場じゃいけないのかと思うはずです。甲子園球場三個分って。私は個人的には神宮球場が望ましいが、そこまでは主張しない。

青年　ドームだからでしょ。ほら、他は天井がないから容積は出ないし。

アイダ　ドーム球場やドーム型の施設なんて日本中いくらでもあります。問題は誰もが大きさを実感できるわけではない東京ドームを物差しにしていることです。これはその筋の力が働いたに違いありません。

青年　巨人関係ですか。

アイダ　まあその辺でしょう。あなた、東京ドームの大きさ、ご存知ですか？

青年　いえ。

アイダ　面積四万六千七百五十五平方メートル。容積は百二十四万立方メートル。百二十四万立方メートルって想像できます？

青年　すごく広いだろうなっていうだけで。

アイダ　でしょ。そんなものを基準にすることの意味の無さがわかるでしょ。

青年　あの……天井までは？

アイダ　ドームの天井の高さ？

青年　参考までに。

アイダ　六十一、六九メートル。

青年　それなら想像できます。信州のじいちゃん家（ち）の裏山に崖がありまして、そこが六十メートルくらいだって。

アイダ　じいちゃんがそう言ったの？

青年　だから高さ六十メートルは何となく。

アイダ　それ、下から？

青年　え？

アイダ　下から見上げたときの高さ？　それとも崖の上から下をのぞいたときの？

青年　下からです。ちっちゃい頃ですが……危なくて上からなんてとても無理。

アイダ　下からじゃなあ。目の眩む高さっていうじゃない。下から見上げて目が眩む？

青年　すみません。僕には六十メートルの高さがわかりません。

アイダ　あやまることないです。私は想像することは難しいと申し上げたいだけなんです。「東京ドームの天井の高さぐらいあるんだぜ」なんて平気でいうやつに、「おまえ、東京ドームへ入ったことあるのか。見上げるだけでなく天井から下をのぞいたことがあるのか。六十一、六九メートルの高さに目が眩んだことがあるのか」って。

青年　……。

アイダ　採用です。

青年　は？

アイダ　いきなりですが、あなたを採用します。あくまでパートタイムとしてですが。

青年　僕は応募しにきたわけじゃ。

アイダ　募集なんかしてませんよ。

青年　じゃあ、なぜ？

アイダ　パートタイム……おかしな言葉ですよね。時間の一部。パートタイマー。これも変だ。時限装置の部品のような。

青年　はあ……。

アイダ　おめでとう。じいちゃんの裏山の崖に感謝して下さい。あれが採用の決め手。

青年　あの……。

アイダ　今からでもいいですよ。

青年　ここ、まさか東京ドームじゃ？

アイダ　まさか。似てますがね。天井がドーム状だが大きさは四十分の一。

青年　プラネタリウムみたいな。

アイダ　そう、それが近いですかね。ほら、あそこ。（天井を指さし）あれ、星座なんですよ。北斗七星。

青年　古墳の中みたいな。

アイダ（急に怒って）貴様、入ったことがあるのか！　墓泥棒か！　不敬罪だぞ！

青年　ないです。すみません。

アイダ　滅多なことは言わないように……あなたはゴミ置き場の、象の墓場ならぬベッドの墓場にいたんでしょ。

青年　ええ。

アイダ　たぶんベッドつながりでここへ来たんでしょう。一種の連想ゲームです。

青年　……ここ、家具店の倉庫ですか？

アイダ　ブー。違います。ただここにもベッドはありますよ。実にたくさん。

青年（見回して）そのようですね。

アイダ　新品じゃありません。ここのベッドは誰かが使っていたもの。中古品。セカンドハンド。年代物もありますよ。天蓋つきのやつとか、南洋のハンモックとかも。

青年　ベッドの博物館？

アイダ　そんなきどったものじゃないですが、中古ベッドの展示場じゃありません。

青年　売り物ではない。

アイダ　大体買いたい人なんていますかね。インテリアとして飾っておく人なんていないでしょ。骨董的価値があっても飾るには大きすぎるし。何より生々しい。

青年　生々しいですか。

アイダ　どこぞの誰かが何年もいや何十年も使っていたんですよ。どんな人物かわからない。殺人事件の被害者かもしれないし、変態かもしれない。古今東西、家の中で行われた殺人のほとんどは寝室、ベッドの上です。『マクベス』のダンカン王然り。美しきユディトに首を切られたホロフェルネ

ス然り。なぜ寝室か。まず狙う相手が特定できる。ベッドの主しかそこにはいませんから。そして薄暗い。眠っていて無防備である。周りに気づかれにくい。枕や布団があるから叫び声を封じることもできる。凶器のナイフに付いた血を拭きとれる。

青年　血を拭き取るって……。

アイダ　自殺が多いのも寝室。ベッドの上だ。変態に関しては説明するまでもないでしょう。というわけで、想像力がある人なら中古のベッドなんて怖くて買えない。

青年　いろんなものが染みついてる。

アイダ　そう、目に見えないものが。そのくせ肝心なものは目に見えないとくる……早い話、ここは物置です。クラシックカー専用のガレージみたいな。それがベッドっていうだけ。何百とある。数ばかり多くなってろくに整理されてないし。粗大ゴミ置き場とたいして変わらんです。

青年　そんなに……どうして？

アイダ　たいした理由なんてないです。しいていうならば、木は森に隠せですか。

青年　木は森に……。

アイダ　モリエールは、フランスの劇作家ですが、百台のデイベッドを所有していたといいます。デイベッドとは昼寝用のベッドのこと。まあ、主なる用途はあれの……。

青年　百台ですか。

アイダ　劇団員が稽古の合間に使ったとは思えません。愛人が百人いたんでしょうか。それにしても相手によってベッドを使い分けるのも律儀というか潔癖症というか……あなたはベッドをさがしていたんでしょ。あなたのが見つかるかもしれないし。

青年　僕のベッドがここに？

アイダ　なにしろたくさんありますから。あなたのベッドもおそらくゴミ置き場に運ばれたんでしょう。リサイクルなんてしませんからね。ところが、たまに廃棄を免れたやつが紛れこんでいることがある。屠殺

場へ向かう途中でトラックから逃げ出した牛みたいなやつが、ここへ逃げ込む。

青年　牛ですか。

アイダ　喩えです。四つ足ですから。

青年　僕のベッドは逃げたんだって、殿下が。

アイダ　さすがのご賢察。

青年　何もしていないから不都合なことはないんですが……採用か……採用なんて初めてだから。受験もアルバイトも、就職活動もしたことないから。

アイダ　そんなに喜んでもらうとすまない気がします。恵まれた環境においでのようだが、心配には及びません。給料なんてびた一文払う気はありませんから。

青年　いりません。で、何をすればいいんです？　保管しているベッドが盗まれないように？　警備係ですか？

アイダ　盗む人なんていませんよ……マネキン人形ですか。

青年　マネキン人形？

アイダ　マネキンが一番近いイメージです。洋服はつり下げておいてもピンとこない。マネキンが身につけるからわかる。

青年　ベッドのマネキン？

アイダ　足の向くまま気の向くまま、あちこちのベッドに腰かけたり、寝転がったりしてください。布団にもぐりこんでもいい。人が寝ていないと、ベッドじゃないと誤解される。ただの台だと。

青年　ここ、誰か来るんですか？

アイダ　たまに間違って入ってきますが、道に迷ったぐらいにしか思っていないから、そのまま通りすぎるだけです。迷い続けて挙句に住みついた座敷童みたいな連中もいますが、あまり気にしないで結構。

青年　気になりますよ。

アイダ　ただ、しょっちゅう忍び込んでくる少々迷惑なベッドオタクもいて。

青年　オタクが？……殿下も？

アイダ　いえ、殿下はこちらの住人ですから。

いわゆる夢遊病者みたいな方が徘徊を。
青年　夢遊病者……大勢ですか？
アイダ　約一名。
青年　一人？
アイダ　いや二人。
青年　どっちなんです？
アイダ　トランプならクイーンのワンペア。
両方ともハートの。虚像ならぬ鏡像です。
青年　きょうぞう？
アイダ　鏡の像。ミラーです。ミイラではありません。ミラーマンです。女性だからミラーウーマンか。複数形はミラーウィミン。
しかし偶像、アイドルではない。
青年　でしょうね。
アイダ　若いです。
青年　若い女性。
アイダ　それはどうでしょうか。
青年　女性だって、若いって。
アイダ　言いました。
青年　じゃあ、若い女性でしょ。
アイダ　あくまで私の印象です。若さとは相対的な概念ですし、性というのもあやふやだ。性同一障害なんてのもあるし。
青年　実際いくつなんです？
アイダ　当人は八百歳と言ってます。
青年　全然若くない。ていうか、そんなのありえない。
アイダ　普通はね。
青年　普通じゃないってこと？
アイダ　それからもう一人。そっちは若くなく、男性でも女性でもありません。
青年　もういいです。
アイダ　本当のことを言いましょうか。
青年　ぜひ。
アイダ　あなたに守ってほしいんです。
青年　やっぱり警備係なんでしょ。
アイダ　ベッドにとりつく悪霊除けになっていただきたい。つまり御札ですな。
青年　悪霊！　そんなのが出るんですか！
アイダ　霊が出没するのも寝室。ベッドのあ

るところと相場が決まっています。

青年　御札……。

アイダ　御符です。お守り。ベッドの守護神。ゴールキーパーです。サッカーもお嫌い？

青年　そんなこと僕には……。

アイダ　ベッドの孤独と苦悩が理解できるひきこもり十年選手のあなたにうってつけ。

青年　十年なんて……八年です。

アイダ　八年ですか。蝉は土の中にそのくらいひきこもるそうですよ。そして地上に出てわずか十日の儚い命。

青年　……僕もそうなのかな。

アイダ　達磨大師は九年間壁の前にひきこもり、そのせいで足が腐りました。

青年　足が……。

アイダ　この面倒な仕事は今まで私が非常勤で務めてきましたが、誰かにおしつけたいなと思っていたら、今回都合よく。

青年　飛んで火に入る……嵌められたのか。

アイダ　嵌められたでなく、あなたがすすんで嵌まったのです。これは宿命です。辞書によれば、嵌まるとは穴や深みに落ち込むこと。夢中になって身動きがとれなくなること。女色に溺れること。

青年　騙されること。

アイダ　しっくり合うこと……じゃあ、引き継ぎ完了ということで、よろしくお願いします……はい。（タスキを渡す）

青年　何ですかこれ？

アイダ　引き継ぎ証ですよ。

青年　これは……。

アイダ　見ての通り箱根駅伝のタスキ。

青年　大学名がない。

アイダ　繰上げスタートのタスキです……必死で中継所に辿り着いたのに、そこにタスキを渡す相手がいない。世の中にこれ以上残酷な仕打ちがあるでしょうか。タスキを繋げなかった選手の悲愴な顔、絶望に打ち拉がれた姿を見るたびに、私、号泣します。どこが優勝したかなんて、そんなことどう

でもいい。正月から泣かされます。日テレは放送の都合ばかり考えて、どんなに酷いことをしているか、わかってるのか！

青年　……僕がこれを？

アイダ　ザ・ガードマンの標です。ドームの中はどこも出入り自由。但し外出は不可。

青年　ここ、ドームと呼んでるんですか？

アイダ　本当はここが東京ドームなんですよ。こっちの方がずっと古い。

青年　いつ頃からあるんですか？

アイダ　七十年以上も前から。

青年　そんなに昔から。

アイダ　トーキョー・ドゥーム（ｄｏｏｍ）とも。

青年　ドゥーム？

アイダ　ディーオーオーエム、ドゥーム……皮肉なんですがね。

青年　僕も誰かにおしつけたくなったら、このタスキを渡せばいいんですか？

アイダ　渡すにふさわしい相手がいれば。

青年　ひとつだけ教えてください。この場所の位置を。

アイダ　経度３５．６８５１７５、緯度１３９．７５２７９９。

青年　……東京のどのあたりなんですか？

アイダ　文京区の隣、千代田区です。千代田区千代田の地下二十メートル。

青年　地下……あ。（顔をさわって）

アイダ　どうされました？

青年　（手を見て）血が……ぶつけたから。

アイダ　それ、血なんですか……土で汚れてるだけかと。

青年　……。（怪訝な顔でアイダを見る）

暗転。

３

同じ場所。青年は背もたれを前にして椅子に座っている。木馬にまたがった子供のようだ。アスカはパジャマ姿。

地べたに体育座り。

青年　美術展に椅子に座った女の人がいるだろ。警備員にしては弱そうだし、ガイドにしてはむすっとしてるし。何者だろうって。

アスカ　美術館、よく行くの？

青年　全然行かない。

アスカ　それは絵にとりつこうとする悪霊から絵を守っているのだ。

青年　絵にも悪霊がとりつくの？

アスカ　何百年も前に描かれたものにとりつかないわけがない。彼女らは巫女さんなのだ……どうして椅子に座ってるの？

青年　歩き疲れちゃったから。久しぶりなんだ、こんなに歩いたの。

アスカ　マザコン？

青年　違うよ。どうして？

アスカ　椅子は母さんだ。それは母さんのだっこだ。

青年、椅子の背から体を離す。

アスカ　ベッドに座ればいいのに。

青年　自由に使っていいって。でも汚しちゃいそうで。たくさんあるけど。

アスカ　ベッドも母さんだ。母さんと添い寝だ。

青年　……。

アスカ　ツタンカーメンのお墓にはたくさんのベッドがあったそうです。

青年　ツタンカーメン？　エジプトの？

アスカ　簡易ベッドや長椅子みたいなのもあったけど、何せファラオのでしょ。金や象牙や黒檀で……ほしいなあ、ひとつ。

青年　ツタンカーメンのベッドが？

アスカ　ほしくない？　脚にベス神の彫刻がついてるやつとか。髭のこんな神様の。

青年　別（べつ）に。

アスカ　座布団あげる……あなたはベッドをさがしにきて、ここに迷い込んだって？

青年　執事の人に聞いたの？
アスカ　ヒツジの人？
青年　執事。
アスカ　あの人は神官です。カミは食べん。
青年　しんかん？
アスカ　神様に仕える、かんしんな人。
青年　神主さんか。
アスカ　アイダさん。
青年　そういえば名前も聞かなかった。
アスカ　私のこと、何か聞いてる？
青年　ここにしょっちゅう遊びにくるちょっと迷惑な人。若くて女性で、自称八百歳。
アスカ　いくつに見える？
青年　十七、八。でも八百歳なんだろ。
アスカ　ブー。およそ三千三百歳です。紀元前千三百年頃生れ。
青年　四倍になっちゃった。
アスカ　アンケセナーメンと申します。
青年　あんけせ？
アスカ　アンケセナーメン。ツタンカーメンのお妃です。幼馴染です。青い檸檬味の。
青年　はいはい。
アスカ　ツタンカーメンとは母さんの違う姉と弟です。つまり姉ちゃんです。一時期父親の妻だったり、旦那の暗殺を謀ったと噂されるジジイと再婚したり。悲劇の王女だとか、実はとんでもない悪女だとか。今だったらすぐにブログが炎上しそうな。
青年　どっちなの？
アスカ　まあ、どっちでもいいです。
青年　どっちでもって……。
アスカ　起立（立って）、礼。転校生の自己紹介。私、アスカと申します。百五十七センチ、四十二キロ。３サイズ非公開。今朝６時の体温三六度三分、血圧上百八、下六十九。低血圧です。
青年　アンケセナーメンじゃなかったの？
アスカ　呼びにくいでしょ。この際、年齢も十七、八でよろしい。
青年　三千三百歳でも構いませんが。

アスカ　それだと話しにくいでしょ。三千歳が相手では、敬語の使い方がもう半端じゃない。最上級の、そのまた最上級の、そのまた上の、舌がからまって、喉につまって窒息するくらいの敬語が必要になります。例えば、お尻を拭きますというときにゃ。

青年　お尻を拭く……。

アスカ　尻におをいくつ付けなきゃいけないんでしょうか。私の計算ではざっと百万個です。おおおおおお……おを百万付けていたらどのくらいかかるでしょう。一睡もしないでも十日はかかります。お尻は乾いてしまいます。

青年　何言ってんだか。

アスカ　6世紀末から7世紀は私の時代でした。アスカ時代といって。

青年　聖徳太子がいた時代じゃないの？

アスカ　推古天皇です。女性です。ちんぽこないのに王位を継いだ初めての女帝。

青年　どうしてなれたのかな。

アスカ　それは八枡目に入れたからじゃ……

（地べたの絵を指して）これ、何？

青年　僕が描いたんだ。

アスカ　あなたが描いたの。

青年　殿下に頼まれて。

アスカ　ウメ星デンカに？

青年　夢星殿下？

アスカ　夢ではないウメだ。ウメボシだ。藤子・F・不二雄先生の傑作漫画だ。

青年　やっぱり星の王子様か。

アスカ　日の丸弁当が大好物というキャラで……それはウソ。

青年　殿下に「生れたばかりの子馬みたい」って言われちゃった。

アスカ　デンカは何を描かせたの？

青年　ハゼの絵を描いてくれって。

アスカ　「はせ」の！

青年　ハゼ、お魚の。

アスカ　馬鹿者！　これのどこがお魚なんだ。これはまぎれもなく、おちんぽこ。

青年　ちんぽこちんぽこ言うな！　女のくせに。殿下のご要望通りに描いたんだ。

アスカ　無知なやつめ。「はせ」とは古語、昔の言葉で玉茎、ちんぽこのことだ。

青年　嘘。

アスカ　広辞苑にも載ってる。

青年　それであの人……。

アスカ　何と大きなちんぽこだ！

青年　殿下に嵌められたのかな。

アスカ　ちんぽこはあそこに嵌め……。

青年（口を覆って）よせったら。

アスカ　わっ、病人に手をあげるのか！

青年　どこの病院から来たんだ？

アスカ　よく病院からとわかりましたね。

青年　今、自分で病人と言ったじゃないか。大体その格好だし。

アスカ　三井のリハウスに住んでる箱入り娘のプチ家出とは思わなかった？

青年　思わないよ。

アスカ　ふん何よ、ひきこもりのくせに。娑婆のこと案外知ってるのね……ベッド、捨てられたんでしょ？

青年　そんなことまで……。

アスカ　母さんに捨てられたベッドをさがして冒険の旅に出るのは、ひきこもりの国のへっぽこ王子って相場が決まってるのよ。

青年　……。

アスカ　僕ちゃんの大切なベッドを、ママ、捨てちゃったんだ。ママの馬鹿！　もう、家庭内暴力してやる！

青年　うるさいっ、黙れ！

アスカ　黙らないと打つ？

青年（後ろを向く）

アスカ（前へ回って）おいおい、青年。

青年　何だよ、それ。

アスカ　青年でしょ。青い年の人よ。青二才、といっても二歳じゃない。二十歳くらいか。甲種合格。いつ召集令状がきてもおかしくない。君も立派な青人草である。

青年　いつの時代の話だ。

アスカ　青年、矢車菊をご存じか。とっても綺麗な青い花。同盟国独逸の国の花。学名はセンタレアサイナス（Centarea cyanus）。浅葱色のケンタウルスだ。

青年　ケンタウルス？

アスカ　半分は人で半分はお馬さん。

青年　ああ、ギリシャ神話の。

アスカ　見たことあるの、本物を？

青年　あるわけないだろ。映画か何かで。

アスカ　それでひきこもりの青年よ。畏れ多くもこの私が君の名付け親になったげる。

青年　結構です。

アスカ　ゴッドねえちゃんになってあげる。

青年　僕にはユウイチというちゃんとした名前がある。

アスカ　ユウイチ？

青年　ああ。

アスカ　ちゃんとした名前？

青年　……ああ。

アスカ　ほお、それは自分でつけたのか。自分で。へっへっへ、やらしいな。そういうのを自慰行為というのだぞ。オナニーとは「俺の名前だにー」の略だ。まあ無理もないか、ちんぽこを描くようなやつだし。

青年　自分で自分の名前をつける者はいない。芸名とかペンネームなら別だが。

アスカ　ではどなた様のしわざ？

青年　決まってるだろ。親だ。両親だ。

アスカ　おやおや。

青年　……。

アスカ　大切なベッドを捨てたママがつけてくれたのか？

青年　ああ、そうだよ。

アスカ　ではそんな名前、ベッドと一緒に捨てられてしまえ！

青年　名前が捨てられるか。

アスカ　捨てられるし、拾える。廃品回収もある。フリマで売れる。

青年　さてはアスカは本名じゃないな。

アスカ　本名って何？　私は誰？　本当の名

前っていうが、親がつけた戸籍謄本に記載されたものなんかあれは仮の名だ。それに学校へ行ったり、会社で働く際役立つもの。答案用紙や確定申告の書類に記載するものだ。ひきこもり風情にゃ必要ないだろ。

青年　そういうおまえは何様なんだ。

アスカ　見ての通りの病人様です。ゴホゴホッ（空咳）。大層ご立派な病人様です。ひきこもりなんぞとはご身分が違う。

青年　似たようなもんだよ。

アスカ　一緒にするな！　貴様、たった今、全国三千万の病人を敵に回したぞ。

青年　そんなにいるのか。

アスカ　自覚の無いのをいれれば大体そんなもんだろ。というより、病人とそうでない者との線引きは難しい。心身のどこかに何らかの病を抱えていない人間なんているのだろうか。

青年　ひきこもりだって百万はいる。

アスカ　そんなにいるのか。結構な数だな。団体つくってロビー活動すればいいのに。

青年　そういうことを絶対しない連中がひきこもるんだ。

アスカ　百万か。島根県の人口より多い。

青年　大体そんなもんだろ。

アスカ　神様なんて八百万もいるが、人口統計にはのらないし、組合もない……閑話休題。戸籍の名前なんてクソ食らえだが、名前がないと呼ぶに不便だ……不便（笑う）。

青年　何？

アスカ　クソ食らえと不便……便だって（笑）。我ながらうまいなあ。座布団くれ。

青年　下品だな、女のくせに。

アスカ　女くせえ？　やっぱ臭い？

青年　もういい。

アスカ　この際、嫌がろうが泣こうが喚こうが、お構いなしに名付けてやる。強引に命名を敢行。略して強敢。ひっひっひ。

青年　好きにしろ。

アスカ　キスをしろ？

青年　勝手にしろ。

アスカ　あさぎ、けんた君。

青年　はあ？

アスカ　君の名前だ。浅葱色のケンタウルス。略してあさぎ、けんた。青二才で青人草の君には矢車菊がよく似合う。ところで浅葱色って知ってる？

青年　水色の濃いのだ。矢車菊は知らない。

アスカ　「民さんは野菊のような人だ」と政夫は言った。ｂｙ伊藤佐千夫。矢車は鯉のぼりについてるやつ。

青年　で、アスカってのは？

アスカ　もっても今日か明日か。

青年　何だそりゃ。

アスカ　私は何を隠そう不治の病に罹っているのです。富士の山ではない。よって病人の中でも位が高い。病人貴族、お公家様ですな。正一位。お稲荷さん。ムーディーズの病気格付けではＡＡＡ（トリプルＡ）。投資最適格……不治の病に明後日はない。未来はせいぜい明日まで。

青年　全然元気そうじゃないか。

アスカ　どっ素人にはそう見えるんだよ、けんた君。

青年　それ、ケンタッキーみたいで嫌だ。

アスカ　けんは健康バカの健にしてあげるから。

青年　そりゃどうも。

アスカ　病人はね、ベッドに囚われてるの。やんごとなきわらわは虜囚の身。鉄の手すりは鉄格子。ほんとはベッドから逃がれたいの。ベッドから逃げて、緑の牧場の馬小屋のやわらかい藁の上で眠れたらって。でもそれは無理。ベッドから自由になるのは、それは命の蝋燭が消えたとき……ふーっ。

青年　かなり自由に見えるが。

アスカ　それがけんた君ったら、自分からすすんでベッドに囚われているんだから。一体どういう精神構造かしら。挙句にその檻をわざわざさがしにいくっていうんだか

ら、もう、お馬鹿のお尻丸出し！

青年　ベッドは檻じゃない。

アスカ　じゃ何？　パラダイス？　無人島？

青年　殿下は筏だって。

アスカ　なるほど。ウメ星デンカ、うまいこと言うな。今度会ったら座布団やろう。漂流か。太平洋ひとりぼっち。

青年（ぼそっと）……ふたりだ。

アスカ　え？

青年　殿下は何て名前なの？

アスカ　南高梅梅之助。

青年　嘘つけ。

アスカ　ユウちゃん。

青年　ユウちゃんか……同じだ（笑）。

アスカ　アイちゃんでもある。

青年　どっちなんだ！

アスカ　あなたであったり私であったり。

青年　ＹＯＵ＆Ｉってことね。

アスカ　憂国と愛国は裏表。

青年　もういい。

アスカ　病院のベッドは棺桶そっくりだ。アンケセナーメンはツタンカーメンの人型棺に矢車菊を手向けたのだ。それがドライフラワーになって三千年も残っていた。

青年　どうして矢車菊だったんだろ。何か特別なメッセージがあるのかな。花言葉か？　永遠の愛を誓うとか。

アスカ　うわっ！（ぼりぼり尻を掻く）

青年　何だよ。

アスカ　けんたが歯の浮くようなこというから蕁麻疹が出た。病人にはもっと気を使え。病院では患者様と崇められているのだぞ。

青年　ほんとかよ。仮病じゃないの？

アスカ　毛病じゃない。パイパンでもない。モジャモジャだ。見せてもいい。

青年　病気を偽ってるってこと。

アスカ　それは詐病という。

青年　偽の病人。

アスカ　偽といえばけんただって、ひきこもりのくせにベッドをさがしに外へ出たん

だろ。出られるんだろ。そんなのって変じゃないか。偽のひきこもりじゃないの？

青年　ベッドがない部屋ではひきこもれないんだよ。

アスカ　なるほど。それってひきこもり対策マニュアルに使えるな。

青年　偽なんだろ。

アスカ　あっ、話の途中だが、追っ手が来たようだ。なので失礼する。

青年　追っ手？

アスカ　じゃあ、けんた君、また会おう。

アスカ、退場。

青年　図星だったんで逃げやがって。

イマイ、息を切らして。看護婦姿だが、どうみても男である。

イマイ　あの、今、ここに。

青年　追っ手の方？

イマイ　夫の方ではありません。とはいえ妻にもなれぬ日陰の身……おっと、つまんないですか？

青年　座布団あげます。あの子、ほんとに病院から逃げ出してきたんですか？

イマイ　当人は「お散歩お散歩、楽しいな」とかほざいてますが、結構ハードな徘徊です。ご機嫌なアドベンチャーランドです。私なんてほら、そこら中擦り傷だらけでしょ。ここ、薄暗いからよく転ぶし、井戸から降りるときがまたたいへん。

青年　井戸？

イマイ　病院の中庭にある古井戸。

青年　ここ、病院の井戸とつながってるんですか？

イマイ　枯れちゃってるから水はありません。

青年　使えない井戸が病院に？

イマイ　つかえないことないです。肩幅広いからつかえちゃって。

青年　役に立たないものが、どうして？
イマイ　そりゃあなた、ここへ来るためじゃないの。で、どっちへトンずらしました？
青年　アスカさん、あっちへ（指さす）。
イマイ　アスカ？
青年　アスカさんじゃないんですか。やっぱり偽名か。
イマイ　あのケツはてっきりキョウコかと。
青年　そういう名前の人もここらをうろついてるんですか？
イマイ　ま、どっちでもいいんだけど。
青年　キョウコさんも病人？
イマイ　不治の病。富士の山ではありません。不治の病に明日はない。あるのは今日だけ。
青年　明日はないんですか。
イマイ　だってキョウコなんだから。
青年　キョウコさんも若い女性？
イマイ　興味あるのね。若いです。女性です。
青年　でも若い女性かどうかはわからない。
イマイ　よく御存じで。
青年　八百歳だったり三千三百歳だったり。
イマイ　よく御存じで。
青年　ツタンカーメンのお妃だったり。
イマイ　はいはい。
青年　ゴッドねえちゃんになったり。
イマイ　それは初耳。
青年　名付け親です、僕の。
イマイ　あなたの？　で、何て？
青年　え？
イマイ　付けられた名前よ。
青年　けんた。あさぎ、けんた。
イマイ　けんた君か。けんは不健康の健？
青年　幸子の幸は幸薄いの幸っていうタイプですね。
イマイ　ネガティブな質なので。
青年　けんたはケンタウルスから。
イマイ　ああ、あの半々の方。人と馬と半々なんて、ＤＮＡ的にダイナミックよね。私なんかせいぜい男と女が半々。
青年　看護師さんでしょ？

イマイ　看護婦です。看護師なんてどこのどなたがつけたか知らないけれど、安っぽくなったと思いません？　男は看護師でもいいけど、女は看護婦でいいじゃない。

青年　あなたは……。

イマイ　半々といったでしょ。半々の人は看護婦なの。心は女なんだから。

青年　そういうルールなら。

イマイ　ルールなんてクソ食らえです。患者様だってカンゴシなんて嫌でしょ。何だか刑務所にいるみたいで。

青年　ベッドに囚われているって、アスカさんが……いや、キョウコさんか。

イマイ　すぐ脱走するから私が擦り傷つくって捜しまわらなきゃいけないんじゃない。

青年　たいへんですね。

イマイ　これもお仕事ですから。迷える子羊のケツを追っかける。聖職だと思ってます。（煙草を取り出し）……吸ってもいい？

青年　ここは……。

イマイ　病院、どこも禁煙なんで。（一服する）申し遅れました。私、イマイです。逆から読んでもイマイ、なんちゃって。（青年のタスキを見て）それ、何？

青年　駅伝のタスキ。引き継ぎ証です。

イマイ　へその緒のねじれたやつかと思った。

青年　へその緒……。

イマイ（地べたの絵を見て）こっちは何？

青年　僕が描いたんです。殿下に頼まれて。これ、ち、ちんぽこじゃないですよ。

イマイ　そんなことわかってるわよ。

青年　ハゼです。お魚の。

イマイ　背びれも腹びれもないじゃない。

青年　……あの、追わなくていいんですか。

イマイ　行先は大体わかってるし、飯時になったら病院へ戻ってきます。ならば放っとけばいいじゃないと思いでしょうが、そうもいかないんです。何せ患者様ですから。

青年　あんなに元気そうなのに。

イマイ　どっ素人にはそう見えるの。

青年　不治の病って、彼女難病なんですか？

イマイ　チョウ難病です。チョウが三、四匹重なって交尾してるくらいの……南病でもあります。南の病と書いて南病。

青年　はあ？

イマイ　北ではないですよ。南。

青年　熱帯地方の風土病とか。

イマイ　不死の病でもあります。

青年　不死？　死なないんですか。そうだよな、三千三百歳だもの……アイダさんが夢遊病とか言ってたけど。

アイダ　夢遊病というべきか、遊夢病というべきか。どっちにしろ不便、元へ不憫な子です。

青年　僕が偽じゃないかって言ったら。

イマイ　あ、わかりました？

青年　偽なんですか？

イマイ　偽です。

青年　やっぱり。

イマイ　偽ですけど床上手ならぬ針上手。点滴の針刺すの、とってもうまいんです。病院のナンバーワンです。患者様からのご指名がすごくって、お茶をひいた同僚からやっかまれてます。「看護婦なんてさ、針刺すのがうまけりゃいいんだよ」って言いながらお尻撫でて下さる贔屓の旦那方が大勢いて。それから包帯巻くのも上手。（青年の頭を見て）あら、怪我してるんじゃないの？　包帯巻いてあげようか？

青年　いいです……偽って看護婦さんが？

イマイ　違うんですか？

青年　あの子です。偽の病人じゃないかって。

イマイ　何だ、しまった。

青年　でも偽はまずいんじゃ？　看護婦の資格、ないんでしょ。

イマイ　偽医者はヤバイですけど、偽看護婦は人手不足ゆえ厚労省も黙認しています。偽医者に名医が多いように偽看護婦もやたら評判がいいんです。あなたは国家資格はあるけれど腕の悪いノータリンな藪医

者に医療ミスで殺されたいですか？　性悪なサディストの看護婦に苛められたいですか？　資格なんかなくても神の手を持つ親切な偽医者に診てもらいたくはないですか？　マリア様のような偽看護婦にお世話されたいと思いません？

青年　考えておきます。で、今度僕があの子に会ったら、どうすればいいんですか？　捕まえますか？　僕、一応ここの御札というか、ゴールキーパー、引き継いだので。

イマイ　そんなことしないで、悪霊じゃないんだから。やさしくしてやって。少々のオフサイドも目をつぶって。それから……。

青年　話でも聞いてやれと？

イマイ　できたらベッドで。

青年　ベッドで！

イマイ　ベッドに一緒に入ってやって。

青年　ええっ！

イマイ　ジョンとヨーコのように。

青年　そりゃちょっと……。

イマイ　病人とベッドインは嫌なの？　うつらないわよ。あの病気、感染症じゃないんだから。あれは遺伝性。能や文楽みたいな伝統芸能と同じ。においはね、ちょっと我慢して。病人なんだから。それにあのくらいの年頃はどうしてもおしっこくさいの。

青年　病人だからでなく、僕、女の子と……。

イマイ　したことないのね。心配しないで、向こうもないの。あいこでしょ。あの子もずーっと一人でベッドにいたの。短い人生のほとんどベッドにいたの。ベッドで朝ごはん食べて、ベッドで昼ごはん食べてベッドでおやつ食べてベッドで夕ごはん食べて、ベッドでお絵かきしてベッドでゲームしてベッドで宿題して、ベッドで疳癪起してベッドで落ち込んでベッドで馬鹿笑いして、ベッドで悔し涙流してベッドでくっちゃいおならして、ベッドで初潮を迎えました。ベッドで誕生日にハッピバースディ、トゥーミーって歌ってました。卒業式もベ

ッドでした。一人で蛍の光と君が代歌ってました。一人で、一人きりで……だからね、一度くらいいいじゃない。だって不治の病なんだもの。この先、殿方とベッドインする輝やく未来なんてないんだから。

青年　でも……。

イマイ　ベッドに入ってもパンツは脱がなくていいんですよ。

青年　脱ぎませんよ。

イマイ　お医者さんごっこも。

青年　しませんよ。

イマイ　毎日してるから。お話してあげて。ピロートーク、なんちゃって……でも、おふとんの中で観客に見えないように手を握ってもいいのよ。

青年　握りませんよ。

イマイ　握ってやって。あの子が怖い夢を見ないように。

青年　手を握ってると見ないんですか？

イマイ　手のひらを通して怖い夢があなたの方へうつるから。

青年　夢が手のひらを……。

イマイ　避雷針みたいなもんね。

青年　僕はどうなるんですか？

イマイ　食べるの。むしゃむしゃと頭から。

青年　摸じゃないんだから。

イマイ　あら、ひきこもりでしょ？　ひきこもりはウマ目バク科の哺乳類じゃないの。

青年　ひきこもりって誰に聞いたんですか。

イマイ　電子回覧板で……嘘。風の噂です。ほら、ここわずかだけど風吹いてるでしょ。

青年　ほんとだ……どこから？

イマイ　ダメよ。

青年　何が？

イマイ　風が来る方向に興味を持っちゃダメってこと。ひきこもりの王子様にドームの妖精からの、ちゅ・う・こ・く。

青年　あの……。

イマイ　なんじゃらほい。

青年　あなたもあの子も、病院の中庭の古井

戸を通ってここへ来たんですか？

イマイ　その通り。

青年　井戸から降りてくるわけだ。

イマイ　あの子は細いし超軽量級だからイモリみたいにするすると。でも私はこのガタイでしょ。途中で詰まってズルズルっと。

青年　帰りは？

イマイ　帰り？

青年　井戸を上っていくんですか？　あなたならともかくあの子には無理なんじゃ。縄梯子でもついてるんですか？

イマイ　出口は別だから。

青年　え？

イマイ　帰りは違う場所から出るの。入口と出口は別。

青年　言ってることがよく……。

イマイ　ここへ来るときは井戸から。帰りは別の場所から出るの。

青年　出口があるんですか。どこに？

イマイ　霊安室。

青年　霊安室！

イマイ　病院の霊安室が出口になってるの。だったらそこから入ればいいと思うでしょ。狭い井戸なんか通らず。ところがどっこい、そこは出口専用。入口じゃないの。そこからは入れないの。出られるけど。

青年　そんな馬鹿な。

イマイ　馬鹿なってほんとなんだもの。ときどき御遺体が、「入ってまーす」って。

青年　一方通行だというんですか？

アイダ　入口と出口が一緒じゃないことなんて珍しくないじゃない。あなた、口から食べてお尻から出すでしょ。それとも口から出す？　お尻で食べる？　入口と出口が別で何が不思議なの？

青年　そういうことでは……。

イマイ　そういうことなの。入口と出口が一緒なんて、女のあそこぐらい。

青年　ここは地下二十メートルだって。

イマイ　井戸の深さ、そのくらいあるかもね。

でも平気なの。井戸を抜けたところに大きなベッドが置いてあるから。それもクッションのよくきいたやつが……ぼよよーん。

青年　……殿下や神主さんは？

イマイ　あの方たちは別の出入口から。天神様の細道があるの。

青年　天神様の……。

イマイ　井戸は喩えるなら産道ね。

青年　さんどう？

イマイ　参詣の道じゃないわよ。赤ん坊が生まれるとき通ってくる。ここは逆。赤ん坊がお母さんのおなかに戻っていく道。

青年　赤ん坊が、おなかに戻るわけないじゃないですか！

イマイ　何怒ってんのよ。

青年　いや、だって……。

イマイ　戻るわよ。そういう超哲学的な赤ん坊だって世の中にはいるの。そういうのもありなの。だってここは……。

青年　ここは？

イマイ　子宮なんだもの（拍手を打つ）。

物音。ゴトンと。

イマイ　あ、いやがった……じゃあ、けんた君、また会おう。

イマイ、退場。

青年　何だいありゃ……。

いつのまにか青年の背後にキョウコがいる。アスカと瓜二つ。同じ役者と疑われるほどそっくり。同じ柄の（赤い椿の花をあしらった）パジャマを着ているが、アスカは左前、キョウコは右前。大きな枕を持っている。

キョウコ　獏なの？

青年　あ、いた！

キョウコ　どこかぶつけた？
青年　看護婦さんがさがしてたぞ。
キョウコ　あなたは獏？　ウマ目バク科の。
青年　獏じゃない。
キョウコ　じゃあ、馬鹿？
青年　馬鹿？
キョウコ　馬と鹿が半分ずつくっついた私の想像上の動物です。
青年　半分は馬らしいけど。
キョウコ　そうなの。
青年　そうなのって、それ、自分が言ったんじゃないか。
キョウコ　いつ？　どこで？　誰が？
青年　ついさっき、ここで、アスカが。
キョウコ　もしもし、私はキョウコですが。
青年　何言ってるんだ、アスカだろ。三千三百歳のアンケセナーメンで。
キョウコ　やっぱ馬鹿なんじゃないの？
青年　同じ花柄だし。
キョウコ　椿です。学名、カメリア・ジャポニカ（Camellia japonica）。春の季語。首が落ちるみたいに花弁が萼ごと落ちるので、病人の見舞いには持ってきません。落馬を連想するので、馬の名前にもつけません。
青年　けんたなんて名前、無理矢理付けて。
キョウコ　あなた、けんたなの？
青年　ケンタウルスのけんただって。
キョウコ　お馬さんと人が半々のあれ？
青年　しらばっくれてるのか。それとも異常に忘れっぽいのか……そうか、不治の病って、それか。数分前のことを忘れてしまうっていうあれだ。それとも二重人格か。夢遊病も関係あるのかな。しかし……。
キョウコ　鹿はどこへ行ったの？　あなたにくっついてた鹿は。バンビちゃんは。
青年　馬鹿じゃない！
キョウコ　じゃあ、やっぱり獏？　獏は鼻は象、目は犀、尻尾は牛、脚は虎、全体は熊に似て毛は黒白の斑、中国の想像上の動物

です。獣偏に莫。（「獏」の字が書かれた枕を見せる）莫はお墓の土をとったやつ。無いとかさびしいという意味です。ちなみに砂漠の漠はサンズイに莫。サンズイは水、つまり水が無い所。砂漠が美しいのはどこかに井戸を隠しているから……さびしい獣の獏は悪夢を食べます。その皮を敷いて寝ると邪気を避けるといわれております。

青年　僕の皮を剥ごうっていうの？

キョウコ　いらん。私にはこれがあるから。（持っていた枕の裏側を見せる。パンダ）

青年　何、それ？

キョウコ　見ての通り枕ですが。

青年　枕はわかるけど。

キョウコ　見ての通り獏の写真プリント。

青年　パンダじゃないか。

キョウコ　パンヤでなく、中は小豆です。蕎麦殻より上等です。いざとなったらお汁粉にするし。妖怪ごっこもできる。

青年　パンヤじゃない。それ、パンダ。

キョウコ　獏ですよ。

青年　パンダだよ。夢は食べない。笹や竹を食うんだ。

キョウコ　獏だよお（泣きそう）。

青年　パンダ。ジャイアントパンダ。大熊猫。

キョウコ　獏だってばー（泣く）。

青年　おいおい。

キョウコ（泣きながら）年寄り苛めて楽しいか。

青年　年寄りじゃないだろ。

キョウコ　八百歳の尼っちょだ。

青年　わかったわかった。獏でいいよ。

キョウコ（ころっと）そうか、それで全然効き目がないのか。熊猫野郎かい。

青年　納得しちゃったのか。

キョウコ　熊と猫の半々か。クマモンとひこにゃんの合体だな。人気も出るはずだ。

青年　それ、どこで買ったの？

キョウコ　ネット通販だ。宝くじ、枕の下に置いといたのに当たらなかったし。中国製とは相性悪いな。陶枕もダメだったし。

青年　とうちん？

キョウコ　陶磁の枕だ。ひんやりして涼しいし、悪夢除けの虎が描かれていたが、おたんこナースに落とされて砕けてしまった。

青年　虎も悪夢を除けるの？

キョウコ　我が国では獏の方が人気だが、中国では虎だ。何せ東アジアでは獣の王様だ。獣偏に王と書いて狂だが、キョウコのキョウではない。狂ってはいない。

青年　偏執狂っぽいが。

キョウコ　夏目漱石の奥さんが鏡子だ。鏡の子。流産して神経症になって自殺未遂したことがあるそうだ。案じた漱石君は、寝るときに彼女の手首と自分のとを糸で結んでおいたそうだ。泣かせる話だ。ヨヨヨヨ。

青年　……怖い夢見るの？

キョウコ　見るよ。

青年　よく見るの？

キョウコ　けんたは？

青年　やっぱアスカじゃないの？

キョウコ　しつこい。キョウコだってば。

青年　まあいいや、お偉い病人様だものな。

キョウコ　一緒に寝てくれるの？

青年　え？

キョウコ　言ってたじゃない。

青年　聞いてたのか。

キョウコ　私、相当おしっこくさい小姐（シャオチエ）ですけど、いいですか？

青年　手を握ってやれっていうけど。

キョウコ　女の子にさわったことないの？

青年　そっちは？

キョウコ　国家資格はあるが顔が悪くていい歳して童貞の研修医にしょっちゅうさわられておる。合法的な強制わいせつ……けんたは獏じゃないみたいだけど、お馬さんと人の半々なんだから、悪い夢を食べなくても蹴散らしてくれる気がして。

青年　ねえ。

キョウコ　なんじゃらほい。

青年　誰かと一緒にベッドにいるって、どん

な感じなんだろ。

キョウコ　庶民がベッドに一人で寝るようになったのは、ごく最近のことなのだ。西洋でもごく限られた階層の人だけ。一台のベッドに何人もが一緒に寝たのだ。それが普通だった。お金があっても旅先では相部屋ならぬ相ベッドをしいられたそうだ。それも赤の他人と。

青年　そうなんだ。ベッドって、誰かと一緒の方が普通なのか。

キョウコ　けんたはずっとひとり？

青年　……ああ。

キョウコ　ママが添い寝してくれたんじゃ？

青年　馬鹿言うな！

キョウコ　赤ちゃんの頃だぞ。

青年　……覚えてない。

キョウコ　ベッドというものはたいへんな財産だったし、相続の対象だったし、花嫁の持参金がわりにもなった。それを捨てちゃうなんて、とんでもないことなのだ。

青年　やっぱアスカ？

キョウコ　キョウコだ。ねえ旦那、この枕、二人分の頭が楽々のっかりますぜ。長枕褥合戦、なんちゃって。ひっひっひ。

青年　何か、やらしいこと考えてるな。

キョウコ　枕の夢とはずばりえっちのこと。知ってる？　猟ってね、ちんちんがすごく長いんだって。体の大きさと比較した場合、動物の中でナンバーワン。まあ、枕絵のあれもかなりのデフォルメだというが。

青年　病人のくせに妄想だけはたくましいな。

キョウコ　もうそう竹を食うのはこいつだ！

（枕をたたく）

青年　よせよ、小豆が出ちゃうだろ。

キョウコ　赤飯炊くからいいの。

青年　何のお祝いだよ。

キョウコ　あ、誰か来る。じゃ、けんた君、また会おう。

キョウコ、走り去る。

青年　あ、おい……。

母と娘、登場。母は車椅子。娘が押す。青年はその場を動かない。というか固まって動けない。親子は青年がそこにいることに全く気づかない。

娘　母さん、疲れません？

母　疲れませんよ。歩いてないんだから。あなたの方が疲れたでしょ。

娘　大丈夫……ここって、砂漠のようね。

母　四万六千七百五十五平米あるのよ。

娘　キルト展の会場には広すぎ。もう何時間かしら。ベッドカバーのコーナーをさがしているうちに迷っちゃうんだもの。

母　いいわよ、こんなのもたまには。なかなかあなたと過ごす時間、ないんだから。

娘　ここ、キルト展やってないときは何やってるのかしら。

母　野球をやってるの。

娘　野球場なの？　天井があるのに？

母　ドーム球場っていうの。ほら、雨が降っても平気でしょ。

娘　野球って青空の下でやるものと思ってた。じゃあ、嵐の日でも？　大雪が降っても？

母　ええ、このくらいの雹が降っても（三十センチほどを両手で示す）。

娘　シェルターみたい。

母　シェルター、入ったことあるの？

娘　ないけど。

母　そういうの、知ったかぶりっていうのよ。

娘　ごめんなさい。

母　あやまらなくていいわ。でも、想像することって難しい……ここはね、昔は普通の球場だったの。お義父様とお義母様が一度試合を見に来られたことがあって……なぜ覚えてるかっていうと、母さんがお嫁に来た年だったから。

娘　おじいちゃんとおばあちゃんが？

母　九回まで引き分けだったの。お義父様たちは帰らなければならない時間だったんだけど、予定の三分前にサヨナラホームランが飛び出して、ぎりぎり間に合ったの。

娘　母さんが結婚した年か。

母　母さんたちは行かなかったけれど、お部屋の窓からナイターの灯りが見えたわ。

娘　ドームになったら外から見えないわね。

母　そうね。

娘　中で何をやっていても……母さん、日本の国土の面積、わかる？

母　三十七万七千九百三十平方キロ。

娘　じゃあ、テニスコートは？

母　テニスコート？

娘　ダブルスの。

母　二百六十、七五六九平米。

娘　すごいわね。

母　横二十三、七七メートルに幅十、九七メートルだから。

娘　暗算？

母　あなたは安産だったわ。

娘　……あのね。

母　どうしたの？

娘　孫、見たいでしょ。

母　いるじゃない。

娘　私の子は母さんだけの孫。

母　……。

娘　男でも女でも……ううん、娘がいいわ。そしたら母さん、内緒でお雛様買って下さいね。七段飾りでなくていいから。

母　ええ、いいですよ。

娘　私の娘、母さんのことバアバって呼ぶの。

母　バアバ（笑）。いいわね。

娘　娘はバアバが大好きなの。バアバに抱かれて、指をしゃぶって、涎をたらして、笑って、げっぷして、オムツかえてもらって……それからおねむになってバアバの腕の中でおやすみ……それから、それから一緒にディズニーランドに行きましょ。母さん、一度行ってみたいって言ってたじゃな

い。行こうよ。三人でミッキーマウスの帽子をかぶって、手をつないで園内を歩くの……普通の家族はディズニーランドに行くの。日本の幸せな家族はみんな行くのよ。みんな行く。みんなミッキーに会いに。

母　……。

娘　母さん、ベッドカバー、つくってくれる？ベビーベッドの。

母　いいですよ。

娘　仏様の集合写真みたいなデザインは嫌よ。胎蔵界曼荼羅とか天寿国繍帳みたいのは。

母　もっと可愛いのにしますよ。お花とか動物が出てくるような。

娘　牡丹や椿はやめて。化けて出そうだし。魔除けみたいな動物も。虎とか獅子とか。狩野派はＮＧ。娘が怖がるから。

母　じゃあ、何がいいかしら。ゾウさん？　ウサギ？　それともパンダ？

娘　パンダは嫌い。みんな可愛いっていうけど、私はそうは思わない。よく見ると獰猛な顔してるし。傲慢で愛想ないし。黒と白の鯨幕みたいだし。縁起悪いわ。

母　パンダの赤ちゃん、可愛いじゃない。

娘　動物の赤ちゃんなんてたいがい可愛いわよ。あれはね、生き残るための自然に身についた高等戦術なの。可愛い子ぶって、大人をだまくらかしてるの。

母　ねえ、昔の農村の景色なんてどう？

娘　いいけど、母さん知ってるの？

母　疎開してたから。

娘　……私、双子がいいな。

母　え？

娘　何度もお産するのたいへんだから。双子なら一度に二人。

母　……双子は母さん嫌。

娘　どうして？

母　だって、パパが抱いてあげるのにいっぺんに二人は無理でしょ。どっちかが先でどっちかが後になる。そういうのって。

娘　母さん……。

母　双子は嫌。
娘　……ベッドカバー、素敵なのをお願い。
母　ええ。
娘　私、頑張る。
母　頑張って。あれってダブルスと同じよ。お互いの息があえば……きまるの。
娘　母さんったら（笑）……あ。

娘、青年と目が合う。

母　……どうかしたの？
娘　ううん、何でもない……母さん、あっちに明りが見えるわ。きっと出口よ。

娘、母の車椅子を押し退場。

青年　……（動く）。

暗転。

4

アイダと看護婦姿のイマイ。

イマイ　長さ百八十、三センチ。太さ五十九、二センチ。重さ九百九十六、三キロ。
アイダ　天井を突き抜けるはずはないが。
イマイ　おそらく、穴から入ったものと思われます。
アイダ　空間にぽっかり開いた穴？
イマイ　病院の井戸です。直径八十センチありますから。あそこにすっぽり嵌まり、ドームの中に転がり込んだものと。
アイダ　高度八千メートルから。まさに針の穴を通すコントロールだ。
アイダ　あの夜は低空飛行で侵入しましたから、二千メートル程だと思われます。
アイダ　それでもすごい。
イマイ　偶然でしょう。
アイダ　爆発しなかったのも偶然ですか？

イマイ　不発率は５％ぐらいあったものと。

アイダ　もし爆発していたら？

イマイ　百五十メートル以内は即死。五百メートル以内で死傷者が発生します。

アイダ　ここは完全に崩壊。

イマイ　間違いなく。

アイダ　七十年たっても爆発しますか？

イマイ　おそらく。

アイダ　あの時のものでしょうか。

イマイ　積み間違いかとも。あの時は主に焼夷弾が使われました。Ｅ４６集束焼夷弾。投下後、子爆弾38個が空中でばらまかれます。いわゆるクラスター爆弾です。

アイダ　私の父は陸軍で三式戦闘機に乗っていました。本土防空隊です。

イマイ　ロクイチ、飛燕ですか。

アイダ　Ｂ29に体当たりしました。

イマイ（敬礼）

アイダ　処理は難しいですか？　第１０２不発弾処理隊の元隊長のご意見を伺いたい。

イマイ　極めて困難です。まず処理のための機器の搬入が難しい。爆弾の搬出も難しい。ここから出すためには病院の霊安室を通るか、あちらからの抜け道を通るしかありませんが、どちらも……。

アイダ　あちらの通路は論外です。霊安室はダメなのですか？　そうだ、お棺に入れて出せばいい。身長百八十センチで横幅六十センチぐらいのデブはいくらでもいるんだから、既製品があるはずです。

イマイ　体重千キロのデブはいません。それを御神輿みたいに人力で担げっていうんですか？　無茶です。それに病院ですよ。何かあったらどうするんです。それとも患者やスタッフを避難させられますか？

アイダ　ではここで信管をはずすしかないということか。

イマイ　地上からここに搬出口を開けることはできないのですか？

アイダ　二十メートルの地下ですよ。天井、

どのくらい厚さがあると思います？　六十トン爆弾に耐えられるんです。それに、大がかりな工事を始めたらすぐ嗅ぎつけられる。公にすることなんてできない。

イマイ　信管をはずすと簡単に申されますが、極めて危険です。

アイダ　自衛隊はこれまで一度も処理に失敗したことはないのでは？

イマイ　今回がその最初でないとは言い切れません。我々はわずか一日五千二百円の手当で命を賭けて処理してきました。御存じないかもしれないが、全国で年間相当な件数になります。それでも事故は無かった。だが、いつかその記録が破られる日がくるでしょう。今までが幸運だったのです。幸運を頼りに続けてきたのです……それでも自分でやっているときは、諦めというか覚悟があった。居直りとでもいうのでしょうか。私には家族がいませんから。それが命令するだけで、部下にやらせる立場になってしまった。まだ若い部下たちに。

アイダ　それで辞めたのですか。

イマイ　逃げたのです。

アイダ　体を壊して除隊する人が多いとか。

イマイ　眠れないからです。不発弾処理係は不眠症になります。夢を見るのが怖いから。爆発の夢を見るのが怖くて眠れなくなる。

アイダ　あなたも？

イマイ　仕事以外で夢を見ぬよういろいろ試みましたが、ダメでした。

アイダ　仕事以外で？

イマイ　私は千回以上夢で爆死しています。

アイダ　神の手を持つ伝説の自衛官、イマイ一等陸尉にお願いはできないのですか？

イマイ　引退してもう長いです。点滴の針なら目をつぶっても刺せますが。

アイダ　それでは、あなたの部下だった人たちにお願いするしかない。

イマイ　アイダさん、あなたはこのことを。

アイダ　知らなかったんですよ、本当に。二

十年ぶりだ。定期点検とかしないから。あの青年に引き継いだので、ふと気になって……もう埃やら何やらですごいことになっていて。すっぽり布がかぶせてあったんですが、ひっぱがしてみたらまるで間男のようにあれがうずくまっていました。

イマイ　その喩えは不謹慎では。

アイダ　おそらくこの間の地震です。どこか隅っこに隠れて七十年もじっとしていたのが、ごろごろと転がり出して。

イマイ　危険です。衝撃を与えては。

アイダ　よりによって、あそこまで。

イマイ　奇跡だ。

アイダ　……おむすびころりん。

イマイ　え？

アイダ　日本昔話です。おじいさんのお昼のおむすびが、転がって穴に入ってしまうんです。そして、おじいさんも穴に落ちてしまう。そこには鼠の国がありました。

イマイ　鼠の国……。

アイダ　おむすびをあげたおじいさんは鼠たちに餅つきでもてなされ、小判入の葛籠をもらって帰りましたとさ……チャンチャン。

イマイ　あの1トン爆弾が、おむすびとでもいうんですか。

アイダ　とんだおむすびです。おじいさんに持ち帰ってほしい。

イマイ　呑気な喩えだ。事態は深刻です。

アイダ　鼠の国は根の国です。

イマイ　ね？　根っこですか？

アイダ　根の国とは黄泉の国、あの世のこと。根に住む、それでネズミと。穴かんむりに鼠で竄（ざん）。隠す、逃れるの意です。

イマイ　……鼠か。

アイダ　どうしました？

イマイ　ペンキで落書きがありました。トーキョー。プレゼントバイ、トム。

アイダ　爆弾を積んだ兵士の名前ですか。

イマイ　トムは兵隊の名でなく、猫のことだ

と思います。トムとジェリーのトム。薄くですが、目玉と耳と髭も描かれてました。

アイダ　鼠の国にドラ猫を送り込んだ。

イマイ　でもトムキャットじゃない。あれはヘルキャットです。

アイダ　鼠浄土を地獄にする……昔話では隣家の心根の悪いおじいさんが、猫の鳴き真似をしたせいで鼠の国は大混乱に陥ります……ああ、あの井戸なんですがね。

イマイ　病院の井戸が何か。

アイダ　あの日、あの夜、水を求めて大勢の人がきたのだそうです。でも枯れていたから……水がなかった。一滴も。

イマイ　酷かったと聞いています。病院も焼け落ちて、多くの患者が……。

アイダ　どこへも逃げることができない。

イマイ　火災旋風。

アイダ　地下ではない。地上の地獄。

イマイ　霊安室は当時も？

アイダ　出口専用だったと。

イマイ　そうですか……とにかく絶対に誰も近づけないでください。

アイダ　他の者は知りません。

イマイ　殿下はご存じですよ。

アイダ　まさか。

イマイ　殿下がひきこもりの青年に描かせた絵をごらんになったでしょう……ちんぽこの落書きとでも思ったのですか。殿下はベッドのそばで見つけたと。

アイダ　あれはハゼの、お魚の……。

イマイ　背びれも腹びれもありません。

一旦明りが落ちた後、蝋燭の灯が点る。次々と。蝋燭はネズミたちが手にしている。赤い防空頭巾をかぶっている。苺の形。ミッキーマウスのお面は激しい怒り、或は恐怖の表情である。蝋燭が一斉に消える。暗転。

5

アスカと青年、天蓋付きのベッドに。キングサイズ以上の広さがある。アスカは青年の左側に。

青年　そっちでいいの？

アスカ　けんたは？

青年　こっちでいいよ。

アスカ　この並びは昭和初期からのものだ。古来の陰陽説では左右が逆だ。

青年　何の話？

アスカ　お雛様の並び方。

青年　……立派すぎて落ち着かないな。

アスカ　仏蘭西の太陽王、ルイ十四世が所有していたベッドなのだ。

青年　ほんとか！

アスカ　レプリカだ。王太子妃のベッドと呼ばれている。ほかにも侯爵夫人のベッド、墓のベッド、天使のベッドなんてのもある。

青年　ルイ十四世はベッドマニアなのか。

アスカ　まあハチャメチャに贅沢三昧の浪費家だったからな。戦争と女好きで「ちんは国家なり」なんてえっちなことを言った。

青年　それはちょっと違うと思うぞ。

アスカ　実は双子で片割れはバスティーユに投獄されていたという噂もある。アレクサンドル・デュマの『鉄仮面』での話だが。

青年　そんなのデマなんだろ。

アスカ　デュマだけに……監獄のベッドとは雲泥の差だろうな。ちなみに息子の小デュマの書いたのが『椿姫』。誰あろう私のことだ。そして太陽王の二代あとのルイ十六世のお妃が、かのマリー・アントワネット。

青年　マリー・アントワネットのベッドも？

アスカ　残念ながらそれはない。さぞかし豪華なベッドだったろうが、最期は断頭台に横たわることになった。ギロ、ちん。王妃は思ったに違いない。「こんなの全て夢だわ。心配しなくてもじき覚めるから」って

……王妃は矢車菊をこよなく愛したそうだ。

青年　……。

アスカ　サルダナパロス王の象さんの飾りのついたベッドは半分焦げてる。なかなか芸が細かいが、んなものあるわきゃない。アッシリアの暴虐の王は薪を積み上げ、そこにベッドを置き、火をつけ寝ながら果てた。ここには王様のベッドがいくつもある。ナポレオンの野戦用ベッドという触込みのも。

青年　ナポレオンは三時間しか眠らなかったんだろ。

アスカ　行軍中の馬の上で寝ていたというぞ。

青年　人馬一体。ケンタウルスだな。

アスカ　ひどい痔だったそうだが、夢遊病が疑われる所業も多い。誇大妄想だし……変わったところでは、プロクルステスの寝台なんてのもある。ギリシャ神話の山賊の拷問用ベッドだ。もちろん本物ではない。

青年　拷問用！　ベッドで拷問するのか？

アスカ　旅人を誘い込んで鉄のベッドに寝かせる。そのベッドに寝るには体の寸法がちょうどでなければならない。はみでればちょん切る。足りなければ引っぱって伸ばす。手術室のベッドみたいなもんだ。

青年　ぴったりの場合は助かるのか？

アスカ　甘い。予め旅人の背丈を確かめておき、長さを調節する。だから絶対合わない。

青年　伸縮自在なのか。インチキだな。

アスカ　無理矢理己の基準に当てはめる、こじつけの喩に使われる。山賊はアテナイのテセウス王子にそのベッドで刻まれた……ここに、けんた王子のベッドもあるかも。

青年　あんな安物、王様たちのと一緒に置かれたら恥ずかしい。

アスカ　もっと恥ずかしいものがマットの下に隠してあるだろ。エロ本とか美少女フィギアとか世界征服の計画書とか。

青年　そんなものあるか！

アスカ　ベッドは明かせぬ秘密を隠しておく金庫だ。妄想のブラックホール。百人乗っても壊れない追憶の物置だ。

青年　秘密……。

アスカ　やっぱし何かあるな。もしかしてダッチワイフとか。（物真似）

青年　病室のベッドにはぬいぐるみとか置いてないの？

アスカ　巧みに話を逸らそうとしてるな。小児病棟のガキんちょなら親知らず、元へいざ知らず。私はとっくに初潮のお祝いもすませた受胎可能ないっちょまえの女子だ。大体あれは洗わんから衛生的でない。黴菌まみれだ。涎や鼻水くっついて。

青年　悪い夢を見ないお守りに。

アスカ　プレゼントしてくれるならモンスターズ・インクのサリーがいいな……ちょいとけんた君、ここに横になってみ。

青年　何だよ。

アスカ（青年を横向きに寝かせ）　えーと頭北面西（ずほくめんさい）……北はこっちだな。

青年　方角、わかるの？

アスカ（指さし）あそこに玄ちゃんがいる。

青年　げんちゃん？

アスカ　玄武君。亀さんと蛇さんの半々。北方を守る神様だ。

青年　顔が削られてるのはなぜなんだ？

アスカ　知らん。右脇臥（うきょうが）……そいで手枕して……右。右だってば。

青年　面倒くさいなあ。

アスカ　こうして周りにぬいぐるみを並べるのだ。なるべく大勢。ぐるっと囲むように。題して、涅槃図。

青年　お釈迦様かよ！

アスカ（手を合わせ）これを考案した少女は極楽へ行った。

青年　北枕はいけないんじゃないの。

アスカ（照れて）婚礼の夜、新婚夫婦は北枕。

青年　ところであの枕、どうしちゃった？

アスカ　枕って？
青年　小豆の、パンダの、いや獏の。
アスカ　何を言ってるのかわからん。
青年　キョウコの持ってた枕だよ。
アスカ　もしもし、私はアスカだ。
青年　あれ、キョウコじゃないの？
アスカ　寝言でよその女の名前をつぶやいた男は、締め殺しても罪にならないとハムラビ法典に書いてあるぞ。楔形文字で。
青年　まあ、どっちでもいいけど……ほんとに双子なの？　一人二役じゃないのか？
アスカ　こまどり姉妹、ザ・ピーナッツ、古いな。茉奈佳奈だ。一卵性双生児。腸詰ではない。千組の分娩で四組は現れる。三組なら千三（せんみつ）になるとこだった。
青年　二人並んでいないと信じられん。
アスカ　「ありえないことが信じられないのは、たぶん練習が不足なのじゃ」と白の女王は言った。
青年　誰、それ？
アスカ　『鏡の国のアリス』に出てくるチェスの駒だ。確かに見た目は一緒だが、中身は違っている。肝心なものは目に見えない。
青年　アイダさんはミラーウーマンだって。
アスカ　ミラーツイン。鏡のように左右が逆だ。利き手もつむじも。心臓の位置も。
青年　心臓が！
アスカ　こら、乙女のおっぱいを凝視するな。
青年　左じゃないってこと？
アスカ　Bカップにちょこっと足りない。
青年　アスカが右なの？　キョウコが？
アスカ　それは国家機密だ。特定秘密保護法に抵触する。
青年　……。
アスカ　ねえけんた、すりすりしていい？
青年　したい……の？
アスカ　死体？　けんたは死体なのか。
青年　死体がベッドにいるか！
アスカ　病院では珍しいことではない。
青年　……。

アスカ　英国の病院では昔、ベッドには最低三人が一緒に寝かされたそうだ。

青年　そりゃずいぶん混んでるな。

アスカ　ベッドに寝かされるだけまし。地べたに放っておかれるよりもいい。病人、危篤の人、死んだ人と、豪華三点セットが一つのベッドに同居することもあったとか。

青年　ほんとかよ。

アスカ　隣に話し相手がいるのは寂しくなくていい。

青年　もうすぐ死にそうな人やすでに死んじゃった人でもか。

アスカ　彼らはどんな夢を見るんだろ。

青年　……。

アスカ　けんた……したい？

青年　死体じゃない。

アスカ　じゃなくて、したくない？

青年　何だよ、それ。

アスカ　健康な肉体を持つ青年ならとびっきりの美少女とベッドを共にしてしたくないはずがないと聞いたが、けんたはホモか？

青年　ホモじゃない。

アスカ　その歳でよもや不能（インポ）ではあるまいな。磁気を使った不能治療用の『昇天ベッド』とかいういかがわしい代物もあったそうだ。昇天は天に昇るだ。エクスタシーだ。歌丸さんの『笑点』じゃなく。

青年　不能じゃない。

アスカ　聞け。誠に残念ながら美少女は永遠ではない。花の命は誠に儚い。誠といえば新撰組。新撰組の羽織は浅葱色だ。知っておったか沖田君、じゃなくてけんた君。

青年　知らん。

アスカ　据え膳とふぐ汁食わぬは男の内でないと昔の人は申された。ひきこもり歴八年の大ベテラン、けんた氏（うじ）なら上げ膳、据え膳には慣れておろうに。

青年　据え膳にも毒がある。

アスカ　北枕という名のふぐがいるらしいぞ。

毒は弱いようだが。

青年　弱くたって毒は毒だ。

アスカ　毒と言う字は苺に似ている。果物にも食べ頃がある。乙女は発酵食品じゃないから、放置しておけばどんどん不味くなる。終いにゃ腐る。糸をひく。

青年　苺はあの粒粒が苦手だ。

アスカ　どちらにも母がいる。

青年　え？

アスカ　毒にも苺にも。男は例外なくマザコンだ。

青年　……。

アスカ　けんた君、ほんとはあそこが死後硬直してるんじゃないの？

青年　してない。

アスカ　破裂しそうだったり。

青年　しない。

アスカ　私ってそんなに魅力ない？

青年　そういうことじゃなくて。

アスカ　まあ、初会だからね。こういうのを初対面の捨て枕という。

青年　枕を捨てるの？

アスカ　遊女と初めての時はえっちをしないの。それを捨て枕というのだ。わちきは病院ではアスカ太夫と呼ばれてるんでありんす。ベッドに三蒲団（みつぶとん）重ねて。

青年　いろんなこと知ってるな。

アスカ　小股の切れあがった粋な耳年増だ。何しろ御歳三千三百歳……けんた君、したくないとか言っておきながら、さっきから私のお尻をつんつんするものがあるのだが……やっぱ死後硬直してるんじゃない？

青年　してないったら。

アスカ　いいけど、まだパンツ脱がないでね。心の準備が……（布団の中に手を入れ）えいっ、確保！　うわっ、硬い……あれ、平気？

布団の中から玩具の刀を取り出す。

アスカ　何だこりゃ。
青年　殿下が忘れてったんだ。
アスカ　あめのむらくもではないか。
青年　その、あめの何とか。
アスカ　あめのむらくも。デンカの宝刀だ。
豪華三点セットになっていて、あと二つの
アイテムを揃えるとレベルがぐんと上る。
青年　レベルが？
アスカ　ものすごく上る。それはもう信じら
れないくらい上る。想像を絶するほど上る。
オタクのゲーマーどもが失神して洩らし
っぱなしになるくらい上る。最終兵器だ。
青年　あと二つは？
アスカ　コンパクトとネックレス。
青年　コンパクトってお化粧する時の？
アスカ　やたのかがみ。照ちゃんのテクマク
マヤコンだ。ラミパスラミパスルルルル。
青年　ネックレスはどんなの？
アスカ　やさかにのまがたま。
青年　カニたま？
アスカ　勾玉。曲がった玉だ。くの字の。こ
んな形の（宙に描く）。
青年　空豆みたいな？
アスカ　おなかの中の赤ちゃんの形。
青年　見たことあるのか。
アスカ　病院の地下で。ホルマリンの中に漂
ってた。生れて来れなかった赤ちゃん。何
だか夢見てるみたいだった。
青年　……。
アスカ　赤ちゃんだから夢は見ないか。
青年　そんなことない。
アスカ　けんた……。
青年　夢、見るよ。
アスカ　……でお主、何故こんなものベッド
に持ち込むのだ。変態プレイを所望か？
青年　これを二人の境にしておくというか。
こっちからは入っちゃダメというか。
アスカ　ほおほお、けんた君。ベッドに剣を
置いた中世の騎士（ナイト）をきどってる

のね。わ、可愛いっ！　すりすりしちゃお。

青年　よせったら。

アスカ　やっぱおしっこくさい？

青年　そんなことないけど……。

アスカ（青年の肩に顔を寄せ）ベッドのペットになったげる。

青年　おい……。

アスカ　ああ、いい匂い。草の匂いだ。夏の牧場の匂い。行ったことないけど。けんたは青人草だし、馬と人の半々だからかな。

青年　眠るなよ。

アスカ　眠らない。眠ると夢を見るから。夢が握った手のひらからけんたに伝わって、私の隠された欲望の正体を見られたら恥ずかしい。きっと舌噛んで死んじゃいたいくらい恥ずかしい。全ての道はローマに通じ、全ての夢はえっちに通じるって、フロイトとかいう陰気な顔のおじさんは仰るけど。

青年　楽しかった夢ってないのか。

アスカ　楽しいのなんてない。変なのはよく見る。雛祭りの夢とか。

青年　病院で雛祭りするの？

アスカ　小児病棟ではな。小さい頃のことは覚えていない。夢の中で私はお雛様になって雛壇のてっぺんにいるのだが、なぜかそこにベッドがあるのだ。三人官女はナースのコスプレしてるし、四人囃子は……。

青年　五人だろ。

アスカ　ギター二本とベースとドラム。

青年　十二単みたいの着てるの？

アスカ　暑くて重くて肩凝るからどんどん脱いじゃう。一枚二枚、三、四の五枚。お客さんにサービスでもう一枚。道頓堀劇場だ。

青年　……男雛は？

アスカ　え？

青年　だから、アスカのお相手になる男のお雛様。旦那さん。お内裏様。

アスカ　けんたはお雛様に詳しいのか？

青年　人形の町に育ったからな

アスカ　顔がない。真っ白ののっぺらさん。
青年　そいつとベッドにいるの？
アスカ　婚礼の儀礼用ベッドというのがあって、新婚の二人がベッドに入ってるところへみんながお祝いにくるのだ。
青年　見せものかよ。
アスカ　寝室って昔は社交の場だったんだ。夫婦のための密室じゃない。
青年　何で顔がないんだろ。
アスカ　……神様だったからかな。
青年　神様？
アスカ　神様だったら顔がない。
青年　神様とベッドインか。

アスカ、布団にもぐる。平らになる。

青年　……あれ？　アスカ、どこ？

青年、布団をめくるがそこにアスカはいない。忽然と消える。
かわりにキョウコが青年の右側の布団の中から現れる。

キョウコ　ラブ&ピース。
青年　何だ、そっちか……瞬間移動？
キョウコ　何を言ってるのかわからん。
青年　だってアスカ、今までこっちに。
キョウコ　もしもし、私はキョウコだ。寝言でよその女の名前をつぶやいた男は、刺し殺しても罪にならないとハムラビ法典に書いてあるぞ。楔形文字で。
青年　……キョウコなの？
キョウコ　いかにも。
青年　アスカ、いたんだよ。ここに。あめのむらくもも……あれ？　どこへいった？
キョウコ　何がないのだ？
青年（さがす）殿下の玩具の……。
キョウコ　玩具なんて、こりゃＡＶか。
青年　ビニールの刀。
キョウコ　刀は男性器の象徴であると、陰気

な顔のフロイトおじさんは申したそうな。

青年　ほんとにキョウコ？　まあ、どっちでもいいけど。

キョウコ　なんならヨーコでもいいぞ。

青年　ヨーコ？

キョウコ　オノヨーコ。一九六九年三月二十六日から三十一日までオランダはアムステルダム、ヒルトンホテル７０２号室にてジョン・レノンと「ベッド・イン」の一回目を行う。二回目は同年五月二十六日から六月一日までカナダ、モントリオールのクイーンエリザベスホテル１７４２号室にて。下衆なマスコミはジョンとヨーコがえっちを見せてくれると思ったらしい。それがベッドの上で平和を訴えただけだったので拍子ぬけした。あの二人がまな板ショーなんてするか。ＤＸ東寺じゃあるまいに。

青年　ベトナム戦争の頃だ。

キョウコ　ウォー、イズ、オーバー。イフ、ユウ、ウォンツ、イット……ヨーコは神様と寝たんだ。

青年　神様と？

キョウコ　ジョンは神様だもの。「僕はイエスより有名で人気がある」って。一九四〇年、目出度くも皇紀二六〇〇年に生れ、一九八〇年の十二月八日に死体になった。十二月八日といえば真珠湾攻撃の日だ。トラトラトラ。ワレ奇襲ニ成功セリ。

青年　関係あるのか？

キョウコ　マーク・チャップマンはホノルルに住んでいた。

青年　ジョンを撃った犯人がハワイに……。

キョウコ　病院にかけつけたヨーコは医師に「彼は眠っているの？」と聞いた。だからしばらくニューヨークのルーズベルト病院のベッドで、ジョンの遺体と一緒に寝ていたはず。きっとジョンの最期の夢がヨーコの手のひらから……そのとき偶然、病院のＢＧＭでかかっていたのが『All My Loving』である……明日になれば君とお別

れだね。でも覚えておいて、僕はいつも一緒にいて君のことを想ってる。

青年　ライ麦畑……『ライ麦畑でつかまえて』は犯人の愛読書だった。当日も読んでた。警官に逮捕された後も……物語の主人公が妹にこう言うんだ。「広い広いライ麦畑で遊んでいる子供たちが、崖から落ちないように見張ってあげる。そんな人になりたい」

キョウコ　キャッチャー、イン、ザ、ライ。J・D・サリンジャー。けんたも読んだ？

青年　うん。

キョウコ　……広い広いベッドの上で、テニスコートくらいあるベッドの上で、病気の子供たちが遊んでいるの。

青年　……。

キョウコ　大勢の子供たちが、枕投げしたり、ボールがわりに蹴飛ばしたり、お相撲とったり、くすぐりっこしたり、ゴロゴロしたり……けんたは、あなたは、子供たちがベッドから床に落ちないように見張ってあげるの……そんな人になってよ。キャッチャー、イン、ザ、ベッドに。

青年　僕は……僕にはそんなの無理だ。

キョウコ　できるよ。十代のほとんどをベッドと過ごしたけんたなら。ベッドの守護神。浅葱色のケンタウルス。夢のゴールキーパーのけんたなら。

青年　……アスカ、ベッドから墜ちちゃったのかな（ベッドの下をのぞく）。

キョウコ　ねえけんた、すりすりしていい？

青年　あ……ああ。

キョウコ（青年の肩に顔を寄せ）パンダのキョンキョンはただいま発情期。

青年　ほんとかよ！

キョウコ　冗談だ。いい匂い。草の匂い。夏の牧場の匂い。行ったことないけど。けんたは青人草だし、馬と人の半々だからかな。

青年　おい、眠るなよ。

キョウコ　眠らない。せっかく二人なのに眠

ったらもったいない。夢を見るしかすることがないもの。イエスは生涯に二度しか微睡まなかった。不眠症だった。だからイエスは夢なんて見なかった……これは二人だけの秘め事なのだ。溜息が出ちゃうのだ。

青年　秘め事……。

キョウコ　おいおい、さっきから私のお尻の下に何かゴツゴツするものがあるんだが。

（布団をめくる）

青年　まだ何かあるの。

キョウコ　……見っけ。

青年　何？

キョウコ　豆だ。

青年　枕の小豆か？

キョウコ　空豆だ。天豆。蚕豆ともいう。

青年　蚕豆？

キョウコ　さやが蚕に似ているから。ピュタゴラスはこの豆には死者の魂が入ってるといって嫌った。毒も多少あったらしい。

青年　三平方の定理の人だな。

キョウコ　ベッドにはエンドウ豆と相場が決まっているのだが。何せ私は王女様だから。

青年　はいはい。

キョウコ　ツタンカーメンの墓にもエンドウ豆があったそうだ。そいつが日本に持ち込まれ、芽を出したというが、魚臭い話だ。

青年　キョウコはいつもベッドで何してるんだ。本読んでるのか？　物知りだもんな。

キョウコ　ベッド上の空論はクソの役にも立たん。だがベッドで何でもできる。『失楽園』のミルトンは殆どの詩をベッドで書いた。ダヴィンチはベッドで絵の修正をした。ベッドで曲をつくった作曲家もいた。王様たちはベッドで横になったまま政治をした。

青年　そうなのか。

キョウコ　そんなの全然たいしたことない。私がすごいと思うのは、ベッドに入ったまま乳搾りをしたオバサンだ。その牛は彼女にしかおっぱいをさわらせなかったからだ。そのためベッドの側に牛が来られるよ

うに寝室の床を補強したという。

青年　確かにすごいな、それは。

キョウコ　乳臭い？　心身ともに未熟な私は。

青年　そんなことないよ。

キョウコ　ジョゼフィーヌはチーズ臭かった

そうだが……けんた、したい？

青年　死体でもホモでも不能でもない。

キョウコ　乳搾りさせるほどの乳はないが、

一度乳繰り合ってみる？

青年　馬鹿、何言ってんだ。

キョウコ　男は例外なく巨乳好きだ……こら、

乙女のおっぱいを凝視するな。

青年　キョウコの、心臓の位置……。

キョウコ　Bカップにちょこっと足りない。

青年　……あのさ。

キョウコ　なんじゃらほい。

青年　キョウコたちの病気。チョウ難病の。

キョウコ　はいはい。

青年　どんな病気なの？

キョウコ　話せば長いし、重くて嵩張るがよ

ろしいか。

青年　なるべく簡単に。

キョウコ　悪性の腫瘍だ。

青年　癌？　どこの？

キョウコ　夢の。

青年　目の？

キョウコ　目ではない。夢だ。

青年　夢？　夢ってあの夢？

キョウコ　あのかこのかは知らんが、たぶん

その夢だ。ドリームジャンボのドリーム。

青年　夢が癌になるの？

キョウコ　人間の体で癌にならないところな

どない。髪の毛だって癌になる。俗にハゲ

と呼ばれているが。

青年　夢は体の一部じゃないだろ。

キョウコ　一部だ。切っても切れない仲だ。

癌化した夢は普通、免疫システムのキラー

T細胞によって食われてしまうが、もたれ

て食いきれないことがある。それが悪性腫

瘍となって記憶に巣食うことになる。

青年　悪夢は癌なのか？

キョウコ　違う。夢の良し悪しは感受性の問題だ。個人の価値観で異なる。悪夢とは本来、こんなの夢であってほしいと願いたくなるほど惨たらしい現実のことだ。

青年　……。

キョウコ　夢の癌は夢そのものの機能障害、機能不全を引き起こす。

青年　夢は脳で見るんだから脳の病気じゃ？

キョウコ　視床下部が関係してるという説も。

青年　それで治療は？　夢の癌の治療。

キョウコ　有効な化学療法はない。催眠療法と古今東西の民間療法くらいだが、どちらもあやしい。新聞によく「夢の癌治療」なんて記事が載るが、それは夢のような癌治療であって夢の癌の治療法ではない。

青年　手術とかないのか？

キョウコ　癌は人間の体そのもの。取り除くのでなく、共存しなければならない。

青年　ひどくなるとどうなるんだ？

キョウコ　人によって出現する症状は様々だが、最も恐ろしいのは混沌だ。蝶になってお花畑を飛んでいる夢を見たとする。目が覚めてからふと思う。自分は人間で蝶になった夢を見たのだろうか。それとも自分は蝶で人間になった夢を見ているのだろうか。

青年　自分が誰だかわからなくなる。

キョウコ　夢とうつつの区別がつかなくなる。それがまだ蝶と人間の二者択一なら、ま、どっちでもいいかってことにもなるが。

青年　ならんと思うが。

キョウコ　これが三つも四つも選択肢が増えると厄介だ。蝶に人間に郵便ポストに海の底の貝、なんて組み合わせになった日には。

青年　海の底の貝？

キョウコ　私は貝になりたい。

青年　でも郵便ポストはないな。

キョウコ　あるぞ。エロすぎるから説明しないが。で、三つも四つもになったら、私は

誰？　ここはどこ？　アイデンティティが崩壊する。自りつ神経が耐えられなくなる。ショートする。漏電する。これをステージ４という。４は死だ。死の舞台だ。

青年　死ぬのか！

キョウコ　眠りが死ぬ。永遠の不眠症になる。眠りは死の双子の兄弟なのだ。

青年　キョウコのステージはいくつなんだ？

キョウコ　わからん。駆け足でいっきに進行することもあるし、よくなることもある。三歩進んで二歩戻る。癌は気まぐれさんだ。

青年　キョウコとアスカは同じ夢、見る？

キョウコ　え？

青年　双子だから同じ夢見るんじゃないか。

キョウコ　夢の話はしない。

青年　どうして。

キョウコ　二人同夢は正夢になるから。

青年　……僕に何かできることある？

キョウコ　けんたはひきこもり国の王子だから、美しい王女を助けると相場が決まっている。アテナイの王子、テセウスのように。

青年　テセウスって、山賊退治の？

キョウコ　そう、ギリシャ神話の英雄だ。クレタ島のミノタウロス、牛と人の半々の怪物もやっつけた。我が国には牛鬼という妖怪の伝説があるが、似たようなもんだ。牛鬼の正体は椿の古根であった。ミノタウロスはミノス王のお妃と牛さんの間に生まれた。獣姦だ。重病患者の略ではない。お妃はベッドで不倫相手の乳搾りをしたかも。

青年　それはない。

キョウコ　どうして？

青年　相手は雌じゃない。

キョウコ　そこはそれ、畜生のあさましさで。

青年　ミノタウロスは悪夢なのか？

キョウコ　悪夢だ。何たって牛の頭だぞ。鰯の頭ではない。毎年多くの子供たちが生贄にされていたのだ。逃げることはできなかった。だってそこは……。

青年　そこは？

キョウコ　迷宮なんだから（拍手を打つ）。

溶暗。

6

少年と母。少年は殿下にそっくりだが、服装も雰囲気も庶民的。母も。野球をした帰りなのか、バットとキャッチャーミットを持っている。少年の顔に赤い血のようなものがついている。

少年　ただいま、母さん。

母　ユウちゃん、どうしたの、その顔。怪我したの？　どこで転んだの？

少年　固いものがゴツンとぶつかった。でも砕けちゃった。僕ってウシ頭だから。

母　牛頭？　石頭でしょ……嫌だ、血が出てる（ハンカチで抑える）。

少年　空から降って来た。

母　雹かしら？

少年　ヒョウ？

母　ここらは降らなかったけど。

少年　ヒョウは降ってくるの？

母　ボールぐらいになることもあるのよ。頭にあたったら……あたったの？

少年　ヒョウ、噛みつく？

母　噛みつきはしないわ。

少年　ヒョウにガブッてやられたのかな。

母　雹って、虎の親類の猫の大きいやつじゃないのよ。氷の大きな粒。入道雲ができたときに雷と一緒に降ってくることがあるの。

少年　氷の粒か。

母　でもすごく大きいのもあるの。昔ね、熊谷で南瓜くらいの雹が降ったんだって。直径三十センチ近くあって重さも三キロ。そんなのが頭にあたったりしたら、西瓜割ったみたいになっちゃうわ。世界各地で雹に

あたって死んだ人、結構いるのよ。
少年　赤ん坊だ。
母　え？
少年　生れたばかりの赤ちゃんと同じ。
母　重さはそのくらいだけど、赤ちゃんは降って来ないわ。
少年　コウノトリが赤ちゃんを運んでいて、途中で落っことした。
母　まさか飛行機からの落下物じゃないでしょうね。（ハンカチが染まるのを見て）止まらないわね、病院行く？
少年　僕、捕れなかった……母さん、僕、レフト守ってるんだ。メンバーが多いときはセンターの後ろを守る。外野が嫌なわけじゃないんだ。ゴロはちゃんと捕れるんだよ。後ろに逃したりしない。でもフライを捕るのが下手くそなんだ。せっかく追いついても頭にぶつけたり。サッカーじゃないぞってヤジられる。
母　野球のボールじゃないの。だって三キロの氷のかたまりよ。そんなのまるで……ユウちゃん、何してるの？
少年（血を顔中にこすりつけている。顔が真っ赤になる）ねえ、母さん。僕、きっと赤ちゃんを捕りそこなったんだ。
母　何言ってるの！
少年　ごめんなさい（なおもこすりつける）。
母　やめて、ユウちゃん！
少年　どこかの母さんにあやまらなくちゃ。僕、大切な赤ちゃんを捕りそこねて、僕のウシ頭でヘディングしちゃったんだ。赤ちゃん、ばらばらに砕けて……。
母　やめなさい！
少年　……夢を見たんだ。空から何か落ちてくる。大きな鳥が飛んでて。銀色の大きな鳥が何百羽も……その鳥が落とすんだ。
母　何を落とすの？
少年　空豆のさやみたいな。とっても大きな。
母　空豆の？
少年　町中にばらまく。それを捕ろうとミッ

トをもった子供たちが外へ出てきて。こうやって両手をあげて……バンザイ、バンザイ、バンザーイ……違うよ。違う。あれは人形だ。真っ白い顔した子供の人形。

母　……。

少年　空豆のさやが途中で弾けるの。中には豆がいっぱい入ってて、それがバラバラになって落ちてくる。みんな、そいつを追いかけて……燃えちゃうんだ……豆をキャッチした途端、頭が燐寸を擦ったみたいに燃え上って、白い顔が真っ赤に輝いて、溶けた人形の首がぽろっと……蝋燭が立ってる。あっちにもこっちにも。首のない子供のかたちの蝋燭が町中に……炎が消えると、人形の子供たちはもうどこにもいないの。黒く焦げた塊りと煙だけ。

母　……。

少年　それから大男がいたよ。すごく大きな人が立っていた。巨人なのかな。竹竿のようなものをふりまわしていた。それが鳥にさわるとくっついちゃうんだ。先っちょにべたべたしたものがついてて。

母　それ、鳥刺しっていうの。

少年　鳥、刺したりしないよ。

母　鳥モチといって、ガムみたいなやつを使うの。それで鳥をつかまえるの。

少年　でも、鳥はたくさんいるのに大男は一人だし。それにすごくのろまなんだ。

母　……。

少年　僕は怖くて早く家に帰ろうって。ベッドの下に隠れようって。そこがどこより安心だもの……ベッドの下でじっとしてるとバリバリって音がして。それからドスンドスンって。空豆が屋根を突き破ってベッドに落ちてくるんだ。僕は頭を抱えて、小さくなってた。ベッドから出たら蝋燭になっちゃう。僕の顔が燃えて……それからどのくらいたったかわからない。一時間かもしれないし、三日かもしれない。耳をふさいでたのに泣き声が聞こえた。子供じゃな

い。大人の泣き声。ザーザーと雑音ばかりのラジオから誰かのしゃべる声が聞こえた……それから蝉の、ミーン、ミーン。

母　ユウちゃん、いつからベッドの上で寝なくなったの。そんな夢を見てから？

少年　母さん、僕、怖いんだよ。蝋燭になるのが怖い。怖いよ。

母（少年を抱き）心配しなくていいの。そういうのを杞憂っていうの。空が崩れ落ちるのを心配するようなものなの。

少年　落ちてくるんだよ。この間の地震の時、市営体育館の天井が落ちたでしょ。誰も落ちるなんて思わなかった。

母　大男がいるんでしょ。巨人が。きっと空を支えてくれるわ。

少年　大きいだけでとても鈍いんだ。何だか半分眠っているようで。そうだ、きっと魂の半分が別の場所にいるんだよ。

母　別のところって？

少年　暗いところだよ。静かで寂しくて……お墓の中のような。

母　ユウちゃん、お墓なんて言わないで！

少年　ねえ、母さん、お墓の中には僕が隠れるベッドがある？

暗転。

7

シングルベッドに娘が座っている。

娘　軽の池に浦廻（うらみ）行き廻（み）る鴨すらに玉藻の上に独り宿（ね）なくに。

男の声（青年の声）が闇から。

「夕さらば潮満ち来なむ住吉の浅香の浦に玉藻刈りてな」

娘　ロミオはジュリエットに会いに一族が眠る霊廟の中へ忍び込みます。先祖の骸が所

狭しと並ぶ死の館の一番新しい寝台にジュリエットは横たわっています。可憐で美しい姿のままで。せっかちなロミオはすぐに毒を飲んでしまったけれど、恋人は本当に死んだのか、眠ってるだけじゃないのかって思わなかったのかしら。試しにおっぱいツンツンしてみればよかったのに。ヨーコみたいに傍で眠ってみればよかったのに。握った手のひらを通してジュリエットの夢が伝わったはず。そうすれば仮そめの死だってわかったのに……お馬鹿さん。いい男って頭が軽いの。カーッと熱くなると判断力が湯気になっちゃうの。ジュリエットはきっと、ロミオとベッドでいちゃいちゃしている夢を見ていたはず。フロイトおじさんが解釈する必要もないそのまんまの、欲望丸出しの夢。「もっと、したい」「私もしたい」……でも目が覚めたら隣のロミオは死体でした。死体と一緒に寝ていたジュリエットも死体になって寝ることにしました……わかるわ、ジュリちゃん。私だってあの人が死んだとき、あの人のお墓で一緒に寝ちゃいたいって思ったもの。アンケセナーメンもそうだったんじゃないかしら。ツタンカーメンのお墓には生れて来れなかった赤ちゃんのミイラも二つあった。もしかして双子だったのかも。家具も全部揃っていたし。だってあそこは二人のマイホームなんだもの……それに比べてあの人のお墓。外は直径２３メートル、高さ５メートルもあるけれど、石室なんて南北２６５センチ、東西１０３センチ、高さ１１３センチ。容積たったの３立方メートルちょっと。テントの中程度の広さ。東京ドームの四十万分の一。お棺の他に何にも置けやしない。なのに壁には女の子の絵なんて描いて。何が飛鳥美人よ。グラビアアイドルみたいな品のない娘たちに、あの人の夢を見守らせようっていうの？　それって完全に私へのあてつけ……せめて花

束の一つくらい。

気味悪い笑みを浮かべたミッキーのお面をつけたネズミたちが一斉に鳴く。

娘（大声で）ウ、エ、マ、シャ？（Ou est ma chat？）

ネズミたち、途端に静かになる。

娘（ネズミたちに）うるさいわね。あとで好きなだけ齧ればいいじゃない、鼻でも指でも。崇ったりしないわよ。残酷なくせに臆病なんだから……ジュリエットがロミオと結ばれて後朝の別れをするシーンがあるでしょ。ベッドの中でロミオは、「朝だ。雲雀が鳴いてる。もう行かなくちゃ」っていうの。ジュリエットは、「まだ夜は明けていないわ。あれはナイチンゲールよ」って。でもすぐに気づくの。「あれは雲雀、ああ、何て調子っぱずれの嫌な声かしら」。オリビア・ハッシーの映画、覚えてる。彼女、こーんな胸して……雲雀ってテンション高い鳥だけど。別名、告天子（こうてんし）っていうのよ。天子に告げる？　天子様に何をチクるのかしら。私の浮気を？　浮気じゃないわ。だって本気なんだもの。母さん、私、本気だった。あの人とのダブルス……別れ際のロミオの台詞が心に染みる。「明るくなればなるほど僕らの心は暗くなり、悲しみに包まれる」、なんちゃって。

娘、ベッドに横たわり、ふとんをかぶる。ベッドの長さは体より短く、足がはみ出ている。ネズミたちが歌いながらベッドをとり囲む。

ぺったんぺったん
ねずみのもちつき
猫さえいなけりゃ

極楽浄土

ネズミたち、（伸縮式の）ベッドを伸ばす。ベッドが伸びるのに娘の足の位置はそのまま。つまり体が伸びたことになる。さらに美女切断マジックのように、ふとんごとベッドの中央で切り離す。ベッドが娘の頭がある方と足の方とに分れる。足がバタバタ動き、頭は観客側を向き、微笑む。

ぺったんぺったん
ねずみのもちつき
猫さえ来なけりゃ
千代に八千代に

暗転。

8

青年と母。青年は車椅子に。

青年　母さん、疲れた？
母　ええ、ちょっと。おまえは？
青年　大丈夫。歩いてないから……ここ、すごく広いね。
母　広いでしょう。
青年　砂漠みたいだ。
母　砂漠、見たことあるの？
青年　ないよ。
母　そういうの、知ったかぶりっていうのよ。
青年　ごめん。
母　いいの。でも想像することって難しい。
青年　面積どのくらいあるんだろ。
母　三十七万七千九百三十平方キロ。
青年　ダブルスのテニスコート、何面分？
母　十四億五千三百万。
青年　十四億……。
母　横二十三、七七メートル、幅十、九七メートル。二百六十、七五六九平方メートル

だから。

青年　世界中の人を集めて試合ができるね。

母　そうね。

青年　僕のベッドは横一、九五メートル、幅一、二二メートル。二、三七九平方メートルだから、ダブルスのコートに百九、六台入る。ということは、三十七万七千九百三十平方キロには僕のベッドが全部で千五百八十九億……。

母　やめて……もういいでしょ。

青年　……母さん、僕のベッド、何でシングルじゃなくてセミダブルなの？

母　……転げ落ちないように。

青年　姉さんみたいに？

母　おまえ……。

青年　戸籍謄本には載っていない姉さん。生れて来れなかった姉さん。でもちゃんと名前はあったんだね。紀子（のりこ）。紀（のり）は紀伊半島の紀。日本書紀の紀。紀元節の紀。母さんのおなかにいるときに、もう名前が付けられていた姉さん……バニシングツイン。ぽっかり空いた穴に落ちていった姉さん……僕と姉さんは、双子の僕らは、母さんのおなかのベッドに並んで寝ていたんだね。一緒にひきこもって、羊水の海を漂流してた。お互いの手のひらを通して夢を交換しながら……。

母　じいちゃんに聞いたの？

青年　二籠り。そういうんだってね。二匹の芋虫が一つの繭をつくって入る。繭は普通一本の糸でできてるのに、そいつは二本の糸が絡み合っている。蚕の繭は煮られて両方とも蛹のまま死んじゃうのだけれど、僕だけ生れちゃったんだね。八か月で……僕は女の子と思われていたんだって？　エコーでちんちんが見えなかったから（笑）。僕は佑子になる予定が、佑一になった。佑は人偏に右。僕はきっと姉さんの右側にいたんだ。でも姉さんを助けてあげることができなかった。ベッドから落ちていく姉さ

んを守ることができなかった。ただ、段々死体になっていく姉さんの夢を……。

母　紀子はおまえの中にいるの？

青年　いるよ。ずっといる。姉さんは穴に落ちたんじゃなくて、僕に吸収されちゃったのかもしれない。姉さんの心臓が僕のと一緒になって。僕の鼓動にはときどき姉さんのが混じってる……僕の見る夢には姉さんの夢が混じってる。ずっと不思議だったんだけど、夏休みにじいちゃんにその話を聞かされて謎が解けた。夢の中で姉さんは目も鼻もないのっぺらぼうのお人形。きっと姉さんは神様だったんだよ。僕は母さんのおなかの中で神様と添い寝してたんだ。

母　神様は死なないわ。

青年　でも眠らない。神様は永遠の不眠症だから。死と眠りは双子の兄弟なのに。

母　おまえは何を引き継いだの？

青年　わからないよ。でもね、赤ん坊はみんな誰かの夢を引き継いで生れてくるんだ。遠い昔の誰かの夢を。紀子姉さんは糸車の子、クレタ島のアリアドネ。でも僕らが蛹だった数か月、僕が姉さんから受けとった夢は一本の糸でできていないから、いつまでたっても迷宮の出口が見つからない。だから僕は、ふとんにくるまってずっと冬眠していようと。

母　八年も……まるで蝉のように。

青年　八か月も八年も僕には同じだった。目が覚めるといつも、ドアの向こうには母さんが置いてくれた据え膳があって、それを僕は食べた。残さず食べた。台所へ降りたくなかったから、トイレの水を飲んだ。

母　なぜベッドの下へ隠れたの？

青年　黒焦げの死体になるのが怖くて、ときどきベッドの下へもぐった……母さん、ベッドの下って案外広いんだよ。

母　深夜そっと部屋に忍び込んだわ。気づかれないように。でもおまえはベッドにいない。かわりに汚れたボールが一つころがっ

てた。心臓が止まりそうだった。するとベッドの下から声がした。寝言。すすり泣き。おまえは夢を見ながら泣いていた。

青年　ほんとは死体になりたかったのかもしれないね。毒を腹いっぱい食べたのに、北枕で寝たのに死ななかった。キャッチャーミットの枕は、蝋燭の夢ばかり見させるし。

母　おまえにとりついた悪霊を除こうと、『母の会』で評判の新興宗教の教祖様に家に来てもらった。「起きなさい。ベッドを担いで歩きなさい」偽のイエス様がそういったけれど、おまえは癒されなかった。

青年　ベッドには四本の足があるからどこへでも行くことができる。人は自分の行く方向がわかってなくちゃいけないんだ。たとえ自分の名前は知らなかったとしても……母さん、僕は馬と人の半々。蚕の神様は馬と娘の二籠り。僕と姉さんは前世で結ばれず死を選んだ恋人同士だったかも……もう行くよ。

母　足がすっかり萎えたおまえが、どこへ行こうっていうの？

青年　水の枯れた井戸まで。そこは僕の行きたいお墓へとつながってる。トーキョードゥーム。ドゥームは運命、破滅、死、罪の宣告、世の終わり、最後の審判……そこで双子たちは同じ夢を見る。二人同夢は正夢だから……ねえ母さん、千代田区の隣、文京区にある巨人のドームは、母さんたちのおなかのドームの二億四千八百万倍の広さがあるんだよ。

青年、車椅子を降り、立ちあがろうとするが、よろける。生れたばかりの子馬のように足元がおぼつかないが、必死に進もうとする。

母　やめて、ユウちゃん！

暗転。

9

大型の畳を重ねてつくられたベッド。枕部分に傾斜がある。白いシーツで覆われ、二か所が盛り上がっている。何かが並んで乗せられているようだ。キョウコ、あめのむらくもで盛り上がった片方を突く。

キョウコ　ぎゅっぎゅっ……硬い。

もう一度、突く。

キョウコ　死後硬直してるのかしら。

連続して突く。シーツが持ち上がり、出てきたのはイマイ。看護婦姿でなく自衛隊の戦闘服、ヘルメット着用。隣の〝爆弾〟もその姿を現す。

キョウコ　硬いはずだ。
イマイ　……ダメだ、眠れん。
キョウコ　何してたの？　戦争？
イマイ　野戦病院とでも？
キョウコ　いつものおネエ言葉は？
イマイ　今はナイちんゲールじゃなく、元不発弾処理隊の隊長さんだから。
キョウコ　隊長、鉄カブトがお似合いです。
イマイ　キョウコはここで何してるんだ？
キョウコ　祖国のため身を挺し、敵の将軍の寝首を掻きに。
イマイ　俺、そんなに偉くないよ。
キョウコ　……これ（爆弾を突こうとする）。
イマイ　馬鹿、さわるな！
キョウコ　なんじゃらほい。
イマイ　爆弾。
キョウコ　獏？　ウマ目バク科の？
イマイ　1トン爆弾だ。
キョウコ　ふとん爆弾？

イマイ　危ないから病院に戻れ。ふとんにくるまって蛹になってろ。

キョウコ（聞いていない）あ、びっくり。これって、けんた君の書いた絵にそっくり。

イマイ　あれだよ。

キョウコ　冷凍マグロかジュゴンみたいだが……やっぱ、ちんぽこなの？

イマイ　こんな大きなちんぽこがあるか。

キョウコ　秘宝館にはある……そうだ、巨人のかも。アベサダさんがちょん切って。

イマイ　……。

キョウコ　ちんぽこというものはよく行方不明になるそうではないか。ツタンカーメンのミイラのちんぽこも一時紛失した。

イマイ　こいつにも呪いがかかっている。

キョウコ　ほんと？

イマイ　呪いがかかってるとしか思えん。

キョウコ　子授け神社の御札を張ってやろう。

イマイ　さわるなって！　ちんぽこじゃない。本物の不発弾だ。危険物だ。

キョウコ　乙女にとってはどっちも危険物だ。そいで、こいつはどこからいらしたのだ。

イマイ　戦時中に爆撃機から落とされた。

キョウコ　そんな時代ものをわざわざとっておいたのか？　鑑定団に出すのか？

イマイ　偽物ならありがたいが。

キョウコ　飛行機から降ってきたやつが、こんなところにいる理由がわからん。

イマイ　井戸にすっぽり嵌まったんだよ。

キョウコ　嵌まったのか。やっぱちん……。

イマイ　おむすびころりんだとよ。転がり込んでドームのどこかに七十年もひっそり隠れていて、この間の地震の衝撃でひょっこり姿を現したんだと。

キョウコ　ひきこもり爆弾か。七十年とは、けんた君など足元にも及ばない……でも、おむすびというより太巻きだな。

イマイ　さわるなって！

キョウコ　さわると大きくなる？

イマイ　眠ってる子を起こすな。

キョウコ　眠ってるの？
イマイ　死んでいればいいが、生憎不死身だ。
キョウコ　不死の病だな……ちょっと見は死体みたいだが。それがどうしてベッドの上にいるの？　病院でもないのに。
イマイ　それが不思議なんだ。最初見つかったときはベッドの下にいたらしいが、いつのまにか上に乗っていた。
キョウコ　そりゃ爆弾だって、地べたでなくベッドで最期を迎えたいだろ。
イマイ　誰かが乗せたというのも考えられん。
キョウコ　デンカかけんた君のしわざかも。
イマイ　千キロあるんだぞ。
キョウコ　臥牙丸五人分か。しかし、ちょっとおかしいではないか。千キロの重さによくこのベッドが耐えているな。
イマイ　そういやそうだな。
キョウコ　普通、潰れないか？
イマイ　そこはそれ、これは特別なベッドだから。神様もお休みになるという。
キョウコ　神様は重いの？　おデブさん？
イマイ　畏れ多いこと言うな。しいていうなら存在自体が尊く、荘厳にして重厚なのだ。何キロとか何トンとかいうのでなく。
キョウコ　見たことあるの？
イマイ　あるか！
キョウコ　その尊い神様のベッドに、なぜ尊くないオカマが寝ていたのだ？
イマイ　夢を見るため。
キョウコ　夢？
イマイ　こいつの夢を覗くためだ。そうしなけりゃ安全確実に信管を取り外すことはできない。一種の非破壊検査だ。
キョウコ　爆弾の夢！
イマイ　眠っているんだから。
キョウコ　コールドスリープか。それで爆弾の手を握って眠ろうとしたの？
イマイ　手はないが、爆撃機に積んで吊下げておくためのフックがある……（小声で）これは不発弾処理隊の秘密の奥義だ。

キョウコ　（同じく小声で）それはちょっと恥ずかしくて秘密にしておきたいだろ。閨房の秘戯みたいだ。で、ダメだったの？
イマイ　眠れん。（両手を上げ）バンザイだ。
キョウコ　じゃあ夢が探れないな。
イマイ　だが、元部下たちにかわりをやらせるわけにはいかん。
キョウコ　あれ？
イマイ　どうした？

シーツがまた盛り上がっている。

キョウコ　何かこの下があやしいぞ。
イマイ　おい、よせ！

キョウコ、ベッドの下へもぐり込む。キョウコが姿を消すと、かわりにアスカがシーツの下から現れる。

アスカ（欠伸をしながら）よく寝た……と思ったのですが、まだお粥が炊けておりませんでしたとさ。チャンチャン。
イマイ　ああ？
アスカ　邯鄲（かんたん）の夢ってシンプルな夢のことかと思ってた。
イマイ　アスカ、ずっとそこにいたのか？
アスカ　ちゃんと見分けがつくのね。
イマイ　ケツのラインが微妙に違う。
アスカ　さすがオカマ。
イマイ　キョウコはどこへ消えたんだ（ベッドの下をのぞく。いない）。
アスカ　今日の日はさようなら、明日に向かって撃て。夢の話でもいたしましょうか。
イマイ　おまえ、今夢を見たのか！　そこで。
アスカ　いかにも。
イマイ　そいつの夢を？
アスカ　アイアイサー。
イマイ　どんな？
アスカ　それが。
イマイ　それが？

アスカ　ソ連が参戦。昭和二十年八月九日
……ごめん。米（こめ）が。
イママイ　米国がと言いたいのか。
アスカ　違う。米だ。お米。ほんとのお米。
ごはんのお米。たくさんのお米が見えました。それに松竹梅。鶴亀。何と目出度い。
イママイ　松竹梅？
アスカ　鶴さんと亀さんも（物真似）。
イママイ　しまいにゃ怒るぞ。
アスカ　じいちゃんとばあちゃんもいた。
イママイ　じいちゃんとばあ……そりゃ翁（おきな）と媼（おうな）……蓬莱台か。
アスカ　砲台？
イママイ　蓬莱台。御祝儀の飾りものだ。
アスカ　蓬莱といえば確か東海の伝説の島。
不老不死の、一人でも仙人がいるところか。
イママイ　……爆米（はぜ）か。
アスカ　お魚の？
イママイ　米を炒って爆ぜさせたものだ。
アスカ　爆ぜさせる？
イママイ　爆発の爆に米。
アスカ　なるほど納得。米爆弾か。
イママイ　爆米（はぜ）は蓬莱台に砂のかわりに敷き詰める。お節句のお菓子にもする。
アスカ　そういえばお雛様もいたぞ。
イママイ　米軍の爆弾が何でそんな夢を。
アスカ　ほんとに爆弾？……猫か？　チェシャ猫だな。首をちょん切ってやろう。おや、メッセージ付きではないか。何々、プレゼント、バイ、トム。ほお、こういう場合、フロムじゃないのか。トゥー、キョウ。何だ、これはキョウコ宛じゃないか。ちぇっ。
イママイ　トーキョーだ。
アスカ　アメ兵はこういうのがジョークだと思ってるんだ。民度の低いやつらだ……
（爆弾の先を指し）ねえ、これ何？
イママイ　信管だ。
アスカ　神主さん？
イママイ　起爆させるためのものだ。不発の原因はほとんどこいつのトラブルだ。

アスカ　爆弾のスイッチ？
イマイ　そんなとこだ。これを取り除けば爆発しない。頭の方についてるのが弾頭信管。尻尾の方のが弾底信管。時限でなく着発だ。
アスカ　どうして両方についてるの？
イマイ　どっちから落ちるかわからんだろ。
アスカ　うーん、勉強になるな。ＮＨＫの通信教育では絶対教えてくれない……じゃあ、さっさと抜いちゃったら。
イマイ　さっさと抜ければ自衛隊はいらない。時間が経ってるからすっかり錆付いている。作業の衝撃で起爆しないとも限らない。
アスカ　じゃあ、どうするの？
イマイ　結局、レンチで無理矢理に首を捻って引っこ抜くことになる。
アスカ　緻密で繊細な作業だと思ったら結構乱暴なのね。
イマイ　慎重の座布団を積み重ねるが、最後は思い切りが必要だ。早い話、神頼みだ。
アスカ　一、二の三か。命懸けの賭け。うーん、ベッドでベット（bet）……うまいな。
（爆弾に）歌丸さん、座布団くれ。
イマイ　さあ、もう帰れ！　頭からふとんかぶって衝撃に備えてろ。
アスカ　隊長、私も手伝ってやろう。
イマイ　いらん。
アスカ　遠慮せずともよい。
イマイ　民間人が出る幕ではない。
アスカ　私は民間人ではない。病人だ。それも未来のない不治の病だ。王女様でもある。臣民のために喜んで花の命を捧げよう。
イマイ　何言ってんだ。
アスカ　爆弾の夢、教えてあげたのにー。
イマイ　参考にならん……おい、よせっ！

アスカ、信管にふれる。
ぽろっと抜ける。あっけなく。

アスカ　ありゃま。
イマイ　……。

アスカ（信管を手に）抜けちゃった。
イマイ　……。
アスカ　どうして？
イマイ　隊での訓練と現場での緊張の日々が全否定されたようなショックを受けている。
アスカ　めげるでない。これこそユニコーンも手なずける処女の力、妹（いも）の力なのだ……あれ、何か出てきたぞ。火薬か？

信管を抜いた爆弾の先端から白い粒状のものがこぼれ出てくる。

イマイ　……火薬じゃない。
アスカ　白いものが出てきた……かたちが形だけに、何かリアルでやらしいな。
イマイ　これは……米だ。
アスカ　ほら、やっぱ米じゃないか。正夢だ。
イマイ　なんで米なんだ？
アスカ　人道支援か。敵に米を送る。くそっ、余裕があるなあ。負けるはずだ。
イマイ　もち米だ。
アスカ　こいつで菱餅つくろう。
イマイ　それで爆米（はぜ）なのか。
アスカ　……おーい、隊長、止まらないよ。

米、出続ける。さらさらという音。勢いよく。やがて床にあふれ出す。

アスカ　日本昔話に確かこんなのがあったぞ。
イマイ　蓬莱台だ。
アスカ　私が鶴で隊長が亀か？
イマイ　千代に八千代に……。
アスカ　止まらないよーっ！

暗転。

10

白い砂が敷かれ、背景に蓬莱山（富士

山）のタペストリーがさがっている。翁、媼よろしくアイダと母。

母　疎開先では草刈りをしました。慣れないものだから鎌でよく指を傷つけてしまいました。田舎生活は山の手育ちの私には戸惑うことが多かった。一番驚かされたのがお蚕です。村ではどの家でもお蚕を飼っていました。時季には寝室にまで蚕棚を置きます。ですから、棚と棚のわずかな隙間に体を横たえねばなりませんでした。蚕の食欲は旺盛で、一日中桑の葉を食べていました。屋根を打つ雨のような音が夜中も聞こえました。暗闇に何百、何千もの蚕が蠢き……私は最初それがとても怖く、気味悪いものに思えました。棚からあふれた芋虫が顔に降ってくる夢も見ました。芋虫は包帯を巻いたミイラに似ています。林立する蚕棚はさしずめ王家の谷……やがて芋虫は糸を吐き、繭をつくります。そして白く輝く容器の中に身を隠すのです。それは美しい繭玉になって。本当に美しかった……それ以来、私はすすんでお蚕の世話をするようになりました。さわるのも平気でした。友だちからは、「虫愛づる姫君」とからかわれました。私が蚕をいとおしく思えたのは、生を全うすることができないからです。繭は煮られて糸がとられます。蚕は蛹でその一生を終えるのです。蛹は生れて来れなかった赤ん坊。私はそれが哀れでなりませんでした。

アイダ　飛行機乗りの父のマフラーは絹でした。すべらかで、父の首っ玉にすがりついたときのあの感触は忘れません。つばくろの雛を隠せし神乙女。陸軍に入隊する前は明治神宮の禰宜だった父の句です……私は当時二歳でした。同じく巫女だった母におぶわれて、火の海になった東京を漂流しました。火の粉で焦げた母の髪のにおいを今も覚えています。それにもまして、幼い

私に染みついて消えることのないにおいの記憶。それが人の肉の焦げたにおいだと知ったのは、それから何年も後のことでした。だが、母の背中から紅蓮の炎や焼けただれ、血まみれになった人々を目撃していたはずなのに、私の眼の記憶はひどくぼんやりとしているのです。なぜなら、私には赤も青もわからない。世界が白黒写真のようにしか見えないのです……父はB29に体当たりしました。あの日襲来した三百四十機のうちの一機と命を引き替えました。燕の名を冠した戦闘機でしたが、天に向かって翔けあがるその姿はむしろ雲雀のそれかもしれません。時は春……揚雲雀名乗りいで蝸牛枝に這い、神、空に知ろしめす。なべて世は事も無し……なべて世は事も無し。私どもの神は、そのときどこにいらしたのか。

母

東京が焼け野原になり、一日で十万もの人が亡くなり、行方不明になり、数えきれない程多くの人々が傷ついたと報された時、真っ先に私の心に浮かんだのはお雛様でした。疎開で女の子たちが少なくなった東京で、三月三日の雛祭りにどれだけの家でお雛様を飾ったのでしょう。遠くにいる子供たちの健やかなることを願って、飾った親もいたかもしれません。でも三月十日には、娘が嫁き遅れるからと押入れの奥にしまってくれていたことでしょう。あの夜、何千、何万ものお雛様が燃えてしまった。もしかすると、娘の大切なお雛様を救おうとして命を失くした方だっているかもしれない。ええ、きっといます……私のお雛様は無事でした。でも母はそれを二度と飾ることはしませんでした。亡くなった子供たちにすまないからといって。お金がなくて疎開できない子供も大勢いたのです。私に娘ができたとき蔵から出してみたら、お雛様の顔はのっぺらぼうでした……あの夜、叔父が入院していた病院も焼かれまし

た。重篤だった叔父は運ばれることを拒み、病院のベッドの上で死にました。あの夜、病人や動けない方たちが一体どのくらいふとんにくるまったまま命を落としたのでしょう。

アイダ　一九四三年、米国で『空軍力の勝利』という題の映画が公開されました。そこには東京を焼きつくす大空襲が予言されていました。そしてその映画をつくったのが、ウォルト・ディズニーだったのです。子供たちに夢と希望を与える、明るく平和なイメージしかないディズニーによる残酷な物語。ミッキーマウスは尖った歯を剥き出して罪のない子供たちを、大事なお雛様を襲ったのです。東京ディズニーランド。その皮肉な名を聞くたびに、私はあの日のことを思い出します。鼠の国とは根の国、黄泉の国、あの世のこと。あの日、東京には焦熱地獄と化したあの世があったのです。

母　疎開先から戻る時、お弁当箱に桑の葉と蚕を入れ、鞄にひそませました。焼け残った実家のベッドの下にお蚕のベッドを置きました。桑の葉を手に入れるのがたいへんでしたけど。私はそのお蚕に名前をつけました。牛若丸。頭でっかちの可愛い子でした。私は牛若丸が羽化するのを待ちました。繭が壊れ、中から全身白い毛に覆われた美しい蛾が現れました。でも牛若丸は一度も羽ばたくことなく、七日後死んでしまいました……蚕の学名がボンビックス・モリ（bombyx mori）、死の爆弾の意味だと知るのは、それからずっと後のことでした。

アイダ　昭和三十四年、六月某日。十五歳の私は後楽園球場の左翼席にいました。ホームランボールを捕ろうとキャッチャーミットを持って。試合は六回まで阪神が４対２とリードしていましたが、７回に巨人は同点としました。９回、延長かと思われたその裏、背番号３のサヨナラホームランが飛び出しました。サヨナラホームラン。何

と残酷な響きでしょう。敗者へのいたわりの微塵もない……ポールぎりぎりに飛び込んだ牛の革のボールは、誰かの手に収まることも誰かの頭を直撃することもなく、空間にぽっかり開いた穴に吸い込まれるように消えてしまいました。ホームランの判定に異議を唱える者がいましたが、肝心のボールがどこにも見つからないのです。もしボールがあったなら、それはあの方にプレゼントされたのでしょう。バックネット裏にいたあの方に。サヨナラホームランは敗者にとって悪夢です。四対四、死と死が向き合った戦。あの日、吹けよ神風、起死回生の逆転の逆夢を見るためにあの方もきっと……この国はあの方の夢です。あの方がベッドで見られる夢なのです。私どもは皆、あの方の夢の住人にすぎません。あの方が目覚めれば、たちまち消えてしまうのです。まるで蝋燭の火が消えるように。

爆音と同時にタペストリーが落ち、後ろにスクリーン。巨大な雛壇が映し出される。鐘、サイレン。風。赤色照明。白黒映像の雛壇の一番上にはお雛様姿の娘。男雛は包帯が巻かれて顔がわからない。二段目の三人官女はナース姿。まん中はイマイ。脇の二人はネズミ。三段目はネズミの四人囃子。ギター2本にベースとドラム。ネズミたちのミッキーのお面の顔は黒く塗りつぶされている。膳には背びれや腹びれもちゃんとつき、鱗も描き加えられお魚になった「1トン爆弾」が供えられている。舞台にアスカとキョウコが登場。

アスカ　右に同じ！

キョウコ　左に同じ！

アスカは巨人、キョウコは阪神のユニフォーム姿、帽子着用。背番号は3と

11。アスカはビニール製のバット、キョウコはボールを手に。白いボールには赤い染みがついている。

アスカ　ウォー、イズ、オーバー。

キョウコ　イフ、ユウ、ウォンツ、イット。

アスカ　3は永遠の半分（8をバットで宙に描く）。

キョウコ　11はベッドで添い寝。

アスカ　巨人は永遠なんだって。

キョウコ　阪枕に神様が頭を乗っける。

アスカ　ねえキョウコ、巨人の夢は神様の夢なの？　神様と一緒に寝たときに手のひらを伝ってきた夢なの？

キョウコ　違うよ、アスカ。神様は夢を見ない。寝済みの神様は永遠の不眠症だから。

アスカ　それ、あのホームランの？

キョウコ　あのかこのかは知らないけど、たぶんそのホームランボール。たった一本の糸からできていた。

アスカ　糸はどこまでつながってる？

キョウコ　入口ではない出口まで。それを辿ればきっと、子供たちは迷宮を抜ける。

アスカ　ほどいたボールの中に何があった？

キョウコ　空豆の形した、まだ生れる前の赤ん坊。

キョウコ、ボールを観客席に向けて放る。観客席後方に控えていた青年がミットで一旦捕るが、ぽろっと落とす。

二人（両手を高く上げ）ファウルボール！

天井から雹のように落ちてくるボール。柝が入り、浅葱幕振りかぶせ。暗転。

11

浅葱幕をそのまま背景に。

少年　ねえウワバミに呑まれた象なんだけど。
青年　僕が最初に描いたやつ？
少年　あの象、何て名前？
青年　ジャンボ。
少年　ジャンボ、かわいそうだね。
青年　あれ、ウワバミじゃない。お布団だよ。
少年　ジャンボはお布団にもぐってるんだ。
青年　ジャンボは寝てるの？
少年　夢を見てるのさ。
青年　どんな夢かな。うんと大きな夢？
少年　きっと水浴びの夢だ。川で水浴びしてる夢……殿下の夢は蝶の博士になること？
青年　うん。
少年　好きな蝶はいるの？
青年　アサギマダラ。
少年　アサギマダラ。
青年　とてもきれいだよ。国の蝶の候補にもなった。結局オオムラサキが選ばれたんだけど。あんまり羽ばたかず、ふわふわって飛ぶの。どこかの国では蝶は人の魂だそうだけど、そんな感じ。大きさはこのくらいかな（6センチを指で示して）。でもね、アサギマダラは何千キロも旅をするんだよ。
青年　何千キロも？
少年　うん、海を越えて。
青年　……海を飛んでるとき、アサギマダラはごはんも食べないし、寝ないんだろうね。
少年　うん、きっと寝ないよ。
青年　翅が浅葱色なんだ。
少年　見たことある？
青年　見たことないけど、浅葱色は知ってる。僕の名前、あさぎ、けんたっていうんだ。
少年　君の名前、聞いてなかったね。
青年　あさぎけんたは、ここで女の子につけてもらった名前なんだ。
少年　本当の名前じゃないの？
青年　うん。でもとても気にいってる。
少年　いいな。僕も名前つけてほしいな。
青年　つけてくれるよ。座布団もくれるかも

……その子ね、不治の病なんだ。
少年　死んじゃうの？
青年　大丈夫。不死の病でもあるから。
少年　それはね、菊の葉の露を飲んだから。
青年　菊の葉の露は不死になる薬なの？　それって矢車菊じゃないよね。
少年　薬なのかな。毒かもしれない。アサギマダラにはね、毒があるんだよ。幼虫が毒のある草を食べ、体に貯めるんだ。きれいな色は、「僕には毒があるよ」って敵に知らせるためのものなんだ。
青年　毒という字には母さんがいるんだって。
少年　母さんが捨てたベッドは見つかった？
青年　いや、もういいんだ。
少年　君の部屋に戻ってるかも。
青年　そうだね。
少年　……ねえ、僕たちって、友だち？
青年　ああ、そうさ。
少年　だったら僕の恥ずかしい話を君に教えてあげる。それって友だちの証でしょ？
青年　うん。
少年（小声で）僕ね、僕、今でも月に一度、おねしょするんだ。一度だけだよ。二度なんてしない。君はベッドにずっといてもトイレはしなかったんでしょ。でも僕ったら、ベッドでトイレしちゃうんだ。
青年　怖い夢でも見たの？
少年　ううん、いい夢だよ。空を飛んでる夢。
青年　蝶になった夢？
少年　蝶の夢、よく見るよ。幼虫になって葉っぱを食べたり、蛹になってじっと寝てる夢……それでね、おねしょして目が覚めるでしょ。そのとき僕の……僕のが、ないの。
青年　何がないの？
少年　ちんちんがない。
青年　そりゃたいへんだ。
少年　でも、それも夢なんだ。夢の夢……（ふと気づいて）ねえ、これって。
青年　何？
少年　これって、夢じゃないよね？

青年　僕の手、握ってごらん。
少年（青年の手を握る）……夢じゃないや。
青年　じゃあ、僕も恥ずかしい話をするよ。
僕はね、小さい頃からしょっちゅうベッドの下で寝てたんだ。なぜって、怖かったから。空から何か落ちてくるような気がして、怖くて怖くて。そこだと安心できたんだ。ベッドの下にもぐって、ミットを枕にして。
少年　ミット？　野球の？
青年　うん、キャッチャーミット。
少年　君はキャッチャーなの？
青年　レフト。メンバーの多いときはセンターの後ろを守った。フライを捕るのが下手くそで。キャッチャーミットだったせいかな。じいちゃんにもらったサイン入りの。
少年　誰のサイン？
青年　タイガースの11番。
少年　11って、蝋燭が二本並んでるみたい。
青年　222勝もしたピッチャーなんだよ。
少年　2222……地面に三人しゃがんでる。
青年　どうしてミットだったんだろう。
少年　君は、ほんとはキャッチャーなんだよ。
青年　女の子にもそういわれた（手を離す）。
少年　……帰るの？
青年　うん。
少年　うちへ寄ってお茶飲まない？
青年　お茶の時間なの？
少年　いつでもお茶の時間なんだよ。
青年（首を振り）そっちは僕が行ってはいけない道だから……はい、これ（タスキを渡す）。
少年　僕に？
青年　ユウちゃんに引き継ぎ。キャッチャー、イン、ザ、ベッドの。
少年　……これ、ねじれてるんだね。
青年　メビウスの輪っていうんだ。（帯を指でなぞって）ここから出発すると……ほら、裏側へ来ちゃうだろ。
少年　へえ……不思議だ。
青年　……じゃあ、行くね。
少年　帰り道、わかる？

青年　井戸から光が差し込んでいて、見上げたら遠くに青い空が見えた。そこを昇って行くよ。入口専用で出口じゃないからたいへんそうだけど。真っ直ぐの煙突の中みたいだし。でもじいちゃん家の裏山の崖を上るより楽さ……僕はね、そこからじゃなきゃダメなんだ。僕の出口はそっちなんだ。霊安室なら容易いだろうけど、それじゃ僕はずっと死体のまま……僕は生れたばかりの赤ん坊になってここを出ていく。井戸から無事に出られたらきっと……僕はきっと、雲雀のように調子っぱずれの声で。

雲雀の囀り。そして『All My Loving』。

了